

付 録

小 山 市 年 表

| | | |
|--------------------------|--------------------------|--|
| BC12,000 年以前 | 旧石器時代 | ○西ノ台遺跡・鉢形遺跡。石を打ち欠いただけの簡単な石器を利用して、狩りと採集の生活がはじまる。 ○土器の使用がはじまる。 |
| BC10,000年 ころ | 縄文時代 草創期 | ○弓矢の使用がはじまる。竪穴住居での生活がはじまる。 |
| BC8,000年 ころ | 縄文時代 早期 | ○寒沢遺跡。 |
| BC4,000年 ころ | 縄文時代 前期 | ○乙女北浦遺跡に人々が住みはじめる。気候が温暖になり、小山付近(野木・藤岡町)に貝塚が見られる。 |
| BC3,000年 ころ | 縄文時代 中期 | ○伝河原遺跡・寺野東遺跡。小山市域の各地で、このころの遺跡が多く確認される。 |
| BC2,000年 ころ | 縄文時代 後期 | ○雨ヶ谷宮遺跡。乙女北浦遺跡に大集落が営まれる。 ○寺野東遺跡に環状盛土遺構・木組遺構が造られる。 |
| BC1,000年 ころ | 縄文時代 晩期 | ○乙女北浦遺跡・井岡遺跡・寺野東遺跡。 |
| BC100～ AD239年 300年 | 弥生時代 後期 古墳時代 前期 | ○乙女亀田遺跡。このころ、田間出土の小銅鐸がつくられる。 ○邪馬台国女王卑弥呼、魏に使を遣わし銅鏡100枚などを賜る。 ○萩山遺跡・溜ノ台遺跡。方形周溝墓がつくられる。 |
| 400年 | 古墳時代 中期 | ○成沢遺跡(豪族の居館跡)。 ○桑57号墳・茶臼塚古墳がつくられる。 |
| 500年 | 古墳時代 後期 | ○摩利支天塚古墳・琵琶塚古墳がつくられる。住居でのカマドの使用がはじまる。 |
| 600年 | | ○このころ、飯塚古墳群・牧ノ内古墳群・下泉古墳群などの群集墳が、市域で多くつくられる。 |
| 700年ころ | | ○このころ、下野薬師寺が創建される。 |
| 708年 | 和銅元年 | ○和同開珎がつくられる。(飯塚44号墳から出土) |
| 741年 | 天平13年 | ○聖武天皇、全国に国分寺・国分尼寺の設置を詔する。 |
| 747年 | 天平19年 | ○このころ下野国分僧寺・国分尼寺が創建される。 |
| 761年 | 天平宝字5年 | ○下野薬師寺に戒壇が設置される。(乙女不動原瓦窯から、薬師寺に瓦が供給された) |
| 770年 | 宝亀元年 | ○弓削道鏡、下野薬師寺の別当となる。 |
| 773年 | 宝亀4年 | ○下野国府に火災がおこり、正倉14棟とたくさんの穀物を焼失する。 |
| 916年 | 延喜16年 | ○朝廷、下野国府に藤原秀郷ら18人の配流を重ねて下知する。 |
| 927年 | 延長5年 | ○『延喜式』成る。その神名帳の中に、安房神社(栗宮)・胸形神社(寒川)・高椅神社(高椅)が記載される。 |
| 929年 | 延長7年 | ○下野国府、朝廷に藤原秀郷らの乱暴を訴え、近国5ヶ国に出兵の官符が出される。 |
| 930年ころ | 延長8年ころ | ○『和名類聚抄』成る。その中に、都賀郡小山・生馬(生駒)、寒川郡真木(間々田付近)・池辺(寒川・網戸付近)の郷が見える。 |
| 939年 | 天慶2年 | ○平将門が下野国府を攻略し、占拠する。 |

| | | |
|---------|-------|--|
| 940年 | 天慶3年 | ○藤原秀郷・平貞盛らが平将門を討ち取る。 |
| 1160年ころ | | ○小山政光が小山に居館を構える。 |
| 1180年 | 治承4年 | ○源頼朝が挙兵。寒川尼（政光妻）、隅田宿の頼朝陣営に参向。 |
| 1183年 | 寿永2年 | ○志田義広が鎌倉の頼朝に反旗をひるがえす。小山朝政らが野木宮の戦いでこれをやぶる。 |
| 1184年 | 元暦元年 | ○小山朝政ら木曾義仲討伐に従軍し、つづいて摂津一の谷に平家の軍勢をやぶる。のち源範頼に従い九州におもむき転戦。 |
| 1187年 | 文治3年 | ○寒川尼が寒川郡ならびに網戸郷の地頭職に補任される。 |
| 1189年 | 文治5年 | ○頼朝が奥州藤原氏を討伐。小山朝政ら従軍。小山政光、宇都宮で頼朝に駄餉（食事）を献ずる。 |
| 1199年 | 正治元年 | ○頼朝死去。梶原景時が諸将の弾劾を受け失脚。小山朝政が播磨国守護職となる。 |
| 1205年 | 元久2年 | ○宇都宮頼綱が幕府から謀叛の嫌疑をかけられる。小山朝政が追討を命ぜられるが、これを拒否する。 |
| 1218年 | 建保6年 | ○小山朝政が日光中宮祠に宝殿を寄進する。 |
| 1333年 | 正慶2年 | ○鎌倉幕府滅亡。 |
| 1335年 | 建武2年 | ○小山秀朝が武蔵府中に北条時行の軍勢と戦い戦死する。足利尊氏が後醍醐天皇に反旗をひるがえし、小山氏もこれに与する。 |
| 1337年 | 建武4年 | ○北畠顕家が宇都宮に本拠をおいて小山城を攻め、小山朝氏が捕らえられる。 |
| 1343年 | 康永2年 | ○興良親王、大宝城から小山城に入る。 |
| 1372年 | 応安5年 | ○小山義政が武蔵鷲宮神社を再興。 |
| 1380年 | 康暦2年 | ○小山義政が裳原（茂原）において宇都宮基綱と戦い戦死させる。鎌倉公方足利氏、これをとがめて小山を攻め、義政降伏する。 |
| 1381年 | 永徳元年 | ○小山義政が鷲城に拠って再度挙兵するも、鎌倉公方に降伏する。 |
| 1382年 | 永徳2年 | ○小山義政が三たび挙兵するも粕尾（栗野町）で自害。嫡子若犬丸は逃亡する。 |
| 1397年 | 永徳4年 | ○小山若犬丸が鎌倉公方の軍勢に追い詰められ会津で自害する。このころ結城基光の子泰朝、小山氏を再興する。 |
| 1440年 | 永享12年 | ○結城氏朝が足利持氏の遺児を擁して挙兵。小山持政は結城城攻めに加わり戦功を挙げる。 |
| 1563年 | 永禄6年 | ○上杉輝虎（謙信）が祇園城を攻略。小山秀綱は降伏し、人質を越後春日山城に送る。 |
| 1576年 | 天正4年 | ○北条氏照が祇園城を攻略。小山秀綱は常陸に逃れる。 |
| 1582年 | 天正10年 | ○小山秀綱、北条氏から祇園城への復帰を許される。 |
| 1590年 | 天正18年 | ○豊臣秀吉が北条氏の小田原城を攻略、天下統一成る。小山秀綱は北条方に味方したため領地を没収される。 |
| 1600年 | 慶長5年 | ○徳川家康が会津の上杉氏を征伐に向かう途中、小山で石田三成が挙兵したとの報告を受け、軍議を開く（小山評定）。この後に関ヶ原の戦いで勝利する。 |
| 1608年 | 慶長13年 | ○小山市の北西部地域において、榎本藩主本多忠純が検地を行う。 |
| 1613年 | 慶長18年 | ○小山市域において、小山藩主本多正純（忠純兄）が検地を行う。 |
| 1616年 | 元和2年 | ○家康死去。 |
| 1617年 | 元和3年 | ○家康の遺骸を駿河久能山より日光に改葬し、将軍秀忠が参詣。 |
| 1619年 | 元和5年 | ○小山藩主本多正純が宇都宮へ転封。小山藩は廃藩となる。 |
| 1622年 | 元和8年 | ○徳川秀忠が日光社参の際、小山御殿を休憩所として利用した。 |

| | | |
|-----------|----------|--|
| 1623 年 | 元和 9 年 | ○小山市域において、古河藩主永井直勝が検地を行う。 |
| 1637 年 | 寛永 14 年 | ○小山市東部地域において、幕府が検地を行う。 |
| 1663 年 | 寛文 3 年 | ○小山宿で大火。 |
| 1664～65 年 | 寛文 4～5 年 | ○小山市域において、古河藩主土井利重が検地を行う。 |
| 1682 年 | 天和 2 年 | ○小山御殿が解体された。 |
| 1689 年 | 元禄 2 年 | ○松尾芭蕉が「奥の細道」の旅に出、途中間々田宿に泊まる。下野国内では室の八島ほかを巡歴する。 |
| 1696 年 | 元禄 9 年 | ○日光街道の助郷制が確立する。 |
| 1744～46 年 | 延享元～3 年 | ○思川・鬼怒川通りにおいて、幕府が流作場の検地を行う。 |
| 1749 年 | 寛延 2 年 | ○迫間田・寒川村、田方の儀につき強訴する。翌年名主が退役を命ぜられる。 |
| 1750 年 | 寛延 3 年 | ○小山宿と助郷 22ヶ村の争論おこる。 |
| 1759 年 | 宝暦 9 年 | ○古河藩中郷（小山西部・大平東部の村々）で一揆おこる。 |
| 1771 年 | 明和 8 年 | ○小山市域で大ひでりがつづく。 |
| 1777 年 | 安永 6 年 | ○思川、雨降りにつき大満水となる。 |
| 1781 年 | 天明元年 | ○思川、雨降りにつき大満水となる。 |
| 1783 年 | 天明 3 年 | ○思川、雨降りにつき大満水となる。 ○浅間山の大噴火で、小山市域にも火山灰が 3～10cm 降る。日中あかりが必要であったといわれる。 |
| 1786 年 | 天明 6 年 | ○思川、大満水となる。 |
| 1787 年 | 天明 7 年 | ○夏より秋まで大飢饉。黒本村では根・長芋・山芋などほりつくす。 |
| 1791 年 | 寛政 3 年 | ○古河領の百姓、年貢用捨米を願って乙女不動原へ集合する。 |
| 1800 年 | 寛政 12 年 | ○伊能忠敬が「蝦夷地測量」（第一次測量）の帰路 間々田宿に泊まる。 |
| 1801 年 | 享和元年 | ○伊能忠敬が「全国測量」（第二次測量）の帰路 間々田宿に泊まる。 |
| 1803 年 | 享和 2 年 | ○伊能忠敬が「全国測量」（第三次測量）の往路 間々田宿に泊まる。 |
| 1823 年 | 文政 6 年 | ○水戸藩士小山秀斐、日光代参後小山宿天翁院にて法事を行う。その翌日の旧臣御目見得を行う。 |
| 1827 年 | 文政 10 年 | ○関東御取締出役下山逢吉出張にて小山宿最寄 42ヶ村組合結成される。 |
| 1833～36 年 | 天保 4～7 年 | ○天保の大飢饉。このころ村々の人口減少が極限に達し、全国的に農村が荒廃する。 |
| 1840 年 | 天保 11 年 | ○水戸藩主徳川斉昭の追鳥狩りに、小山氏の旧臣 200 人が参加する。 |
| 1862 年 | 文久 2 年 | ○坂下門外の変。大橋訥庵が連座する。 |
| 1864 年 | 元治元年 | ○水戸天狗党約 300 名が結城より小山に着く。壬生へ向かうが壬生藩の厳しい警備のため、飯塚宿に宿泊する。 |
| 1868 年 | 慶応 4 年 | ○生駒村へ近郷困窮人が集まり、付近の豪農に対し米金差し出しを強要する。 |
| | 明治元年 | ○戊辰戦争。旧幕府軍の大鳥圭介・土方歳三らが、小山で官軍と激戦をまじえる。 |
| 1871 年 | 明治 4 年 | ○各藩が県になる（廃藩置県）。下野国は栃木・宇都宮の 2 県となる。 |
| 1872 年 | 明治 5 年 | ○学制発布。小山郵便局が設けられる。 |
| 1873 年 | 明治 6 年 | ○宇都宮県が栃木県に合併される。 |
| 1885 年 | 明治 18 年 | ○地租改正条例布告。小山に警察出張所が設けられる。 |
| 1888 年 | 明治 21 年 | ○東北本線の大宮～宇都宮間開通。小山駅開業。 ○両毛線の小山～足利間開通。 ○市制・町村制が公布される。 |

| | | |
|-------|-------|--|
| 1889年 | 明治22年 | ○寒川郡が下都賀郡に編入される。 ○町制が施行され、常光寺に町役場が置かれる。 |
| 1899年 | 明治32年 | ○栃木新道ができ、思川に架橋される。 |
| 1911年 | 明治44年 | ○小山町役場の庁舎落成。 |
| 1913年 | 大正2年 | ○小山にはじめて電灯がつく。 |
| 1922年 | 大正11年 | ○4月1日間々田村が町制を施行。 |
| 1926年 | 大正15年 | ○2月24日琵琶塚古墳が国指定史跡となる。 |
| 1931年 | 昭和6年 | ○日本無線電信、神鳥谷に小山送信所を開設。 |
| 1934年 | 昭和9年 | ○小山駅が新築される。 |
| 1936年 | 昭和11年 | ○3月31日栃木県庁焼失。 ○11月観晃橋、木造からコンクリートの永久橋に改築。 ○12月大谷村役場新築。 |
| 1938年 | 昭和13年 | ○7月小山・絹・穂積・間々田・生井の各地で水害発生。 ○10月3日栃木県庁再建。 |
| 1941年 | 昭和16年 | ○7月台風により生井地区に大被害。 |
| 1943年 | 昭和18年 | ○足利銀行小山支店新築。 |
| 1944年 | 昭和19年 | ○4月県内への疎開者2万人を超える。 ○11月小山駅前の強制疎開はじまる。 |
| 1945年 | 昭和20年 | ○3月小山町で大防空壕がつくられる。 |
| 1946年 | 昭和21年 | ○10月小山地区商工会議所の設立総会開催。 |
| 1947年 | 昭和22年 | ○3月豊田村で県内初の農地解放行われる。 ○9月5日昭和天皇、小山町を巡幸。 ○9月15日キャサリン台風、生井村に大きな被害を与える。 |
| 1948年 | 昭和23年 | ○3月小山町商店街で「三夜通り」の名称が使われはじめる。 |
| 1949年 | 昭和24年 | ○1月県内各市町村で第1回目の成人式が行われる。 |
| 1950年 | 昭和25年 | ○12月15日東北本線と水戸線を結ぶ小山短絡線新設。 |
| 1951年 | 昭和26年 | ○観晃橋南の思川河原を会場に納涼花火大会開催。 |
| 1953年 | 昭和28年 | ○2月絹村に県立結城紬指導所設置。 |
| 1954年 | 昭和29年 | ○3月31日小山町・大谷村が合併して小山市が誕生。初代市長に山中泰輔氏就任。日本専売公社葉たばこ再乾燥工場、稲葉郷に設立。 ○市営野球場完成する。 |
| 1955年 | 昭和30年 | ○2月11日豊田、穂積、中村が合併して美田村誕生する。4月25日 間々田町、生井村合併して、新しい間々田町誕生する。12月1日美 田村大字外城、小山市に編入される。 |
| 1956年 | 昭和31年 | ○9月30日寒川村、間々田町に合併、桑村、絹村と合併して桑絹村と なる。 |
| 1958年 | 昭和33年 | ○東北本線上野～宇都宮間電化される。 ○山中市長再選。 |
| 1960年 | 昭和35年 | ○6月10日両毛線複線化期成同盟会が発足する。 |
| 1961年 | 昭和36年 | ○小山市街地に上水道完成する。 ○市街地開発組合発足し、工場団地造成に着手する。 ○7月1日桑絹村が町制を施行。 |
| 1962年 | 昭和37年 | ○山中市長3選。 ○5月1日小山第一保育所開所。 |
| 1963年 | 昭和38年 | ○4月18日間々田町及び美田村、小山市に合併する。 |

| | | |
|-------|-------|--|
| 1964年 | 昭和39年 | ○10月31日市役所庁舎、大字小山2315番地に竣工する。(現中央町1丁目1番1号) |
| 1965年 | 昭和40年 | ○11月25日市制施行10周年記念祝賀式を挙る。 ○4月1日旧市内住居表示実施。 ○4月10日小山第二保育所開所。 ○4月13日寒川出張所改築工事完成。 ○4月24日小山工業高等専門学校開校。 ○8月27日小山地区し尿処理場竣工。 ○9月30日桑絹町小山市に合併。 ○10月10日小山バイパス開通(現国道4号)。 |
| 1966年 | 昭和41年 | ○3月1日小山市農協発足。 ○4月29日市長に山中泰輔氏4選。 ○6月22日第二4号国道古河・宇都宮間建設促進期成同盟会が発足する。 ○8月1日少年補導センター開設。 ○9月30日永久選挙人名簿確定。 ○11月12日国道50号線バイパス建設促進期成同盟が発足する。 |
| 1967年 | 昭和42年 | ○1月1日国保世帯員7割給付。 ○4月1日市民相談室を開設。 ○4月1日小山・間々田・美田農業共済組合合併。 ○5月8日栃木市大光寺に農耕用ダム完成。 ○11月1日国保病院基準看護を実施。 |
| 1968年 | 昭和43年 | ○1月23日食肉センター完成。 ○2月23日消防庁舎竣工。 ○4月1日栃木県交通災害共済発足。 ○4月23日社会福祉法人小山市社会福祉協議会発足。 ○5月5日第一回選抜自治会対抗少年ソフトボール大会で小宅自治会チーム優勝。 ○5月21日間々田局の電話自動化。 ○5月25日養護老人ホーム「延寿荘」竣工。 ○7月14日市営野球場横倉工場団地に仮移設。 ○7月31日小山高等学校が作新学院を5-1で破り甲子園初出場なる。 ○7月31日中央町1丁目X字型横断歩道橋完成。 ○10月1日両毛線電化。 ○12月23日南半田住宅団地を小山市扶桑町とする。 |
| 1969年 | 昭和44年 | ○1月6日小山駅東臨時改札口が出来る。 ○5月10日小山市交通指導員制度が発足、19名が委嘱される。 ○6月10日小山市の人口10万人となる。10万人目は中央町の山中清さんの長男彰ちゃん、市からベビーカーを贈る。 ○10月6日羽川小学校に交通安全教育センターができる。 ○12月23日小山第一小学校移転新築工事竣工。 |
| 1970年 | 昭和45年 | ○2月19日小山駅東土地区画整理事業が総工費4億6千3百万円で完成。 ○3月13日小山市から暴力を追放して「明るく住みよい小山市の建設」を議会で議決し市・町内ぐるみ運動を展開する。 |

| | | |
|-------|-------|---|
| 1971年 | 昭和46年 | <ul style="list-style-type: none"> ○4月29日第5代目小山市長に栗田政夫氏初当選。 ○5月1日ごみの収集を一部民間委託。 ○6月10日若木町3丁目、駅東通りを住居表示実施。 ○6月13日間々田保育所が完成。 ○6月16日千駄塚で運搬中の塩素ガスが爆発。 ○1月20日蒸気機関車C50 小山号駅東公園へ展示。 ○1月26日市立小山病院の新病棟が完成。 ○2月アカシヤコース（ハイキングコース）が完成。 ○3月小山市振興計画基本構想（46～55年）及び第一期基本計画（46～50年）を策定する。 ○4月27日小山市と喜連川町の両穂積が姉妹地区の縁結びを行う。 ○5月14日栃木県東北新幹線対策協議会が発足する。 ○6月15日老人福祉センター開設。 ○6月小山市振興計画（46～55）が出来る。 ○7月26日市、企業二者間の公害防止協定を締結。 ○10月小山市の市旗を制定。 ○10月12日東北新幹線小山駅停車が決定。 |
| 1972年 | 昭和47年 | <ul style="list-style-type: none"> ○1月1日老人医療費の公費負担が実現。 ○1月28日小山市褒章勲章会が発足。 ○2月7日小山市のスローガン「伸ばそう小山、築こう文化」が決まる。 ○4月1日小山園芸高校開校。（現・小山北桜高校） ○4月1日小山市武道館開館。 ○4月1日消防本部桑分遣所開所。 ○4月1日小山第三保育所開所。 ○4月1日乳児医療費の無料化実現、同10月1日所得制限が撤廃される。 ○4月3日間々田公民館改築工事が完成。 ○4月6日小山第一小学校と小山第二小学校に市内初のスクールゾーンが設定される。 ○5月8日小野藤土地改良区が発足。 ○6月1日勤労青少年ホーム開館。 ○6月1日栃木県紬織物指導所移転改築工事が完成。 ○7月14日間中地内でナウマン象の第3臼歯の化石が発見される。 ○7月15日小山地区広域行政圏が指定される。（小山市、野木町、国分寺町、南河内町） ○7月17日小山大橋が開通。 ○7月25日向野地内で小山運動公園の建設に着工。 ○12月25日東北新幹線の建設に着工。 |
| 1973年 | 昭和48年 | <ul style="list-style-type: none"> ○2月21日城南宅地造成事業の保留地公売に上限価格を設定。（全国で初めて） ○2月22日田川放水路が完成。 ○3月31日し尿処理場増設工事が完成。 ○4月1日駅南町の住居表示を実施。 ○4月1日旭小学校開校。 ○4月1日小山土地開発公社が市庁舎内に発足。 |

1974年

昭和49年

- 5月31日間々田中学校で市内初の光化学スモッグの被害者が出る。
- 7月市民生活を明るくする会が発足。
- 7月プール未設置校9校にプール完成。
- 9月23日運動公園に初めての施設として野球場がオープン。
- 10月15日小山地区広域行政組合北部清掃センターが操業開始。
- 11月1日扶桑町の住居表示を実施。
- 昭和48年の交通事故発生状況が発表され全国10万人以上の都市における交通事故死亡率が全国一となる。
- 1月1日国保の高額療養費支給制度を開始。
- 1月はしご付き消防ポンプ自動車を配置。
- 1月延島小学校に交通安全教育センターが完成。
- 3月小山市振興計画第二期基本計画(49～53年)策定する。
- 4月1日白鷗女子短期大学開校。
- 4月21日市長選挙栗田政夫氏再選なる。
- 5月1日城東保育所開所。
- 6月1日もみじ保育所開所。
- 6月小山第二小学校、豊田北小学校の改築工事が完成し、新校舎に移転。
- 6月12日第二工業団地の企業と市の間で公害防止協定に調印。
- 6月20日勤労青少年ホームに体育センターが完成。
- 10月スポーツ事故見舞金制度が出来る。
- 10月自然災害に弔慰金と救護資金貸出制度が出来る。
- 10月4日中島橋促進期成同盟が発足。
- 11月3日小山地区休日急患診療所が医師会病院内に発足。
- 11月20日小山地区県立高校増設期成同盟会が発足。
- 11月23日小山おはやし振興会で初のおはやしコンクール実施。
- 12月26日乙女土地区画整理組合が発足。
- 1月20日第一あけぼの土地区画整理組合が発足。
- 2月3日下生井郵便局が上生井に移転し上生井郵便局になる。
- 4月1日小山運動公園に陸上競技場がオープン。
- 4月1日間々田駅東地区が住居表示によって「暁1～3丁目」となる。
- 4月1日出井街道(市道13号)の東北線との立体交差が完成。
- 4月1日法務大臣より間々田地区が「人権モデル地区広域指定」される。
- 4月3日乙女小学校開校。
- 4月11日小山地区広域行政事務組合による中央清掃センター(外城)完成。
- 4月21日小山公共職業安定所が本郷町2丁目から若木町1丁目に移転し業務を開始。
- 5月12日中久喜保育所開所。
- 9月1日印鑑登録制度を改正。
- 9月20日都市総合交通規制を実施。
- 10月10日間々田中央商店街の歩道が完成。
- 10月あさひ地区が県のモデルコミュニティー第1号に指定される。
- 11月23日小山市桑養蚕組合養蚕部門で天皇杯。

1975年

昭和50年

| | | |
|-------|-------|--|
| 1976年 | 昭和51年 | <ul style="list-style-type: none"> ○11月23・24日小山市商工祭で初めての歩行者天国を実施。 ○2月5日長崎屋小山店において特設行政相談所を開設。 ○3月28日第1回関東郷土芸能おはやしコンクール実施。 ○3月31日小山第二中学校増改築工事が完成。 ○4月1日桑絹地区有線放送廃止。 ○4月1日「小山市史」編さん事業がはじまる。 ○4月1日老人向け貸農園スタート。 ○4月6日第48回全国選抜高校野球大会で小山高等学校が準優勝。 ○5月31日網戸保育所開所。 ○6月1日水処理センター通水式。(若木町、八幡町、天神町の各1、2丁目、花垣町1丁目の一部で供給開始) ○7月29日小山高等学校が足利学園を4-0で破り8年ぶり2回目の甲子園出場となる。 ○8月7日”市民の殿堂”中央市民会館建設に着工。 ○8月15日豊田南小学校が改築完成。 ○10月1日ひとり暮らしの老人を対象に福祉電話スタート。 ○12月小山市振興計画基本構想(52～60年)及び前期基本計画(52～55年)を策定する。 |
| 1977年 | 昭和52年 | <ul style="list-style-type: none"> ○1月26日東北新幹線に第1号ロングレール敷設される。 ○1月28日乙女不動原瓦窯跡確認調査行われる。 ○3月1日市立小山病院で、最新鋭の「頭けい部レントゲン断層撮影装置」を導入。 ○4月1日社会福祉協議会で、高額療養費等のつなぎ資金の貸付はじまる。 ○4月1日城南区画整理事業記念会館完成。 ○4月1日栃木県渡良瀬遊水地開発推進協議会が発足。 ○4月4日小山城東小学校開校。 ○4月5日羽川西小学校開校。 ○4月11日若木保育所開所。 ○6月20日市体協山岳部一行9名、北米マッキンリーに登頂。 ○8月18日洪水により観晃橋が陥没。 ○8月25日農家憲章を制定。 ○9月1日旧紬織物指導所が絹文化研修所にころも替え。 ○10月27日黒本橋開通。(旧黒本橋の約1キロメートル上流) |
| 1978年 | 昭和53年 | <ul style="list-style-type: none"> ○3月千駄塚に市営住宅完成。(初年度分) ○4月1日国体室を開設。 ○4月5日栃の葉会館がオープン。 ○5月3日市道喜沢一中久喜線の東北本線との立体交差仮開通。 ○5月4日出井保育所開所。 ○5月10日旧中央公民館取り壊す。 ○5月11日乙女不動原瓦窯跡が国指定史跡となる。 ○5月31日小山駅舎新装なる。 ○6月5日東北新幹線の試運転はじまる。 ○7月10日中央市民会館オープン。 ○7月10日市民憲章、市の花(オモイガワザクラ)、市の木(シラカシ)、 |

| | | |
|-------|-------|--|
| 1979年 | 昭和54年 | <p>市の鳥（セグロセキレイ）、市歌、小山音頭を制定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○7月21日摩利支天塚古墳が国指定史跡となる。 ○7月31日小山郵便局が城山町3丁目から城東1丁目に移転。 ○8月15日中小学校・穂積小学校の全面改築完成。 ○10月17日城東土地区画整理地区の住居表示を実施。（城東1～7丁目まで） ○1月15日第1回市民マラソン大会開催。 ○2月間々田駅の橋上化完成。 ○3月31日城東区画整理事業完了。 ○3月31日小山市街地開発組合解散。 ○4月7日小山南高等学校開校。 ○5月1日粗大ゴミ処理施設操業開始。 ○5月9日間々田北保育所開所。 ○5月11日消防署間々田分署移転新築。 ○5月25日第1回防犯運動実施。 ○6月30日小山運動公園にクラブハウス完成オープン。 ○小山市の工業生産額が宇都宮市を抜き県内1位となる。（53年工業統計調査） ○11月23日県内で初めてボランティアグループにより「わたぼうしコンサート」開かれる。 ○11月27日渡良瀬遊水地国営公園建設促進周辺地域連絡協議会発足。 ○12月7日東北新幹線小山試験線で電車のスピード世界新記録 時速319kmをマーク。 |
| 1980年 | 昭和55年 | <ul style="list-style-type: none"> ○1月1日市立小山病院と下都賀郡市第2医師会病院が統合し小山市市民病院誕生。 ○3月1日在宅寝たきり老人のためにデイサービス事業開始。 ○4月1日中公民館が南小林から下河原田の現在地へ新築移転。 ○4月4日小山第三中学校開校。 ○4月5日あけぼの保育所開所。 ○4月13日駅南児童センター開館。 ○4月17日島田橋開通。 ○5月2～5日中央市民会館で「ミレーとバルビゾン画家たち展」が行われ入場者数12,945人にのぼる。 ○5月31日間々田小学校老朽危険校舎増改築工事完成。 ○7月ボランティア連絡協議会発足。 ○8月雑排水浄化装置の設置者に補助金30%の制度実施。 ○9月中央清掃センターに排水処理施設が完成し正式稼働。 ○10月12～17日栃の葉国体秋季大会実施。（小山市はウェイトリフティング、テニスの2種目を実施） ○11月2日全日本吹奏楽コンクールで間々田中学校が銀賞を獲得。 ○11月9日休日急患歯科診療所が開所。 ○12月16日立木満願寺の朝日松（県指定天然記念物）が枯死のため指定解除。 |
| 1981年 | 昭和56年 | <ul style="list-style-type: none"> ○3月国土利用小山市計画を策定する。（50～65年） ○3月小山市振興計画後期基本計画を策定する。（56～60年） |

| | | |
|-------|-------|--|
| 1982年 | 昭和57年 | <ul style="list-style-type: none"> ○4月城北保育所開所。 ○4月大谷公民館の建替工事完成開館。 ○4月3日小山第三小学校開校。 ○4月市役所第二庁舎（旧郵便局舎）へ福祉部、教育委員会が移転。 ○4月特定行政庁を設置、建築確認を市で実施。 ○6月26日小山中学校が新設移転。 ○6月小山西変電所が本郷町1丁目に完成。 ○9月小山のおはやしがハワイでの「アロハウィーク」に招待参加し活躍。 ○10月助役二人制スタート、新助役に長瀬親次郎氏が就任。 ○11月第1回評定マラソン開催。 ○1月小山地区環境衛生センター増設工事完成稼働開始。 ○1月福祉タクシー制度スタート。 ○東北新幹線建設に伴う工事用通路の維持管理について国有鉄道と覚書を締結。(57～62年) ○4月小山城南小学校開校。 ○4月城北児童センター開館。 ○4月桑公民館の建替工事完成開館。 ○5月31日東北本線中距離輸送力増強促進期成同盟会が発足。 ○6月23日東北新幹線暫定大宮駅始発として開業同日小山駅開業。 ○6月29日羽川西浄水場仮通水。 ○10月1日～24日市民会館において当市出身の「菊川京三翻刻模写絵展」開催。 ○11月1日保健・福祉センター開館。 |
| 1983年 | 昭和58年 | <ul style="list-style-type: none"> ○11月1日小山市民病院増改築完成。 ○3月1日名誉市民小平久雄氏顕彰式。 ○3月13日市立博物館開館。 ○4月5日小山城北小学校開校。 ○4月広域行政、保健予防、環境衛生の3組合を統合し小山広域保健衛生組合が発足。 ○4月小山職業訓練短期大学開校。 ○4月穂積公民館の建替工事完成開館。 ○5月桑中学校増改築工事完了。 ○6月全国第1号の羽川歩道橋が取り壊される。 ○7月萱橋小学校増改築工事完了。 ○8月間々田中学校吹奏楽部と間々田青少年吹奏楽団がイギリスの国際青少年音楽祭に招待出演。 ○9月市シルバー人材センターが業務開始。 ○9月12日雇用促進住宅雨ヶ谷宿舎竣工。 ○11月1日消防署大谷分署始動。 |
| 1984年 | 昭和59年 | <ul style="list-style-type: none"> ○11月羽川西小学校PTAが文部大臣賞受賞。 ○1月市青年会館が横倉地内に開館。 ○2月20日豊田公民館建替工事完成開館。 ○3月31日小山市制施行30周年。 ○4月若木小学校、間々田東小学校開校。 ○4月体の不自由な人への市立図書館の宅配制度がスタート。 |

| | | |
|-------|-------|---|
| 1985年 | 昭和60年 | <ul style="list-style-type: none"> ○4月網戸小学校の移転、全面増改築工事が完成。 ○5月間々田小学校が全日本少年サッカー大会県予選で初優勝。 ○5月17日栃木県北関東横断道路建設促進協議会が発足。 ○6月小山高等学校が全国総体県予選のテニス男子団体が優勝。 ○7月中クラブが全日本学童野球大会県予選で初優勝。 ○7月KDDの小山新中央局舎が完成。 ○8月21日栗田政夫市長退任。 ○8月6日大字小山・神鳥谷の一部が住居表示によって三峯・神山となる。 ○8月松沼が県学童少女ソフトボール大会、関東小学生ソフトボール大会で優勝。 ○9月30日小林武夫氏が市長就任。 ○10月水道事業第三次拡張工事完成通水式。 ○11月扶桑水処理センターで通水式。 ○11月14日市制30周年記念式典開催。 ○12月小山市交響吹奏楽団がアフリカ飢餓救援コンサート開催。 |
| 1986年 | 昭和61年 | <ul style="list-style-type: none"> ○1月26日初の健康まつり。 ○2月中央公民館のテープライブラリーが開始。 ○3月14日国道50号線小山～岩舟間バイパスが暫定二車線で開通。 ○3月14日東北新幹線暫定上野駅始発として営業開始。 ○8月36時間連続ソフトボール大会開催。 |
| 1987年 | 昭和62年 | <ul style="list-style-type: none"> ○2月1日大字乙女の一部を住居表示。 ○3月小山市振興計画基本構想（61～70年）及び前期基本計画（61～65年）を策定。 ○4月1日小山西高等学校開校。 ○4月1日白鷗大学（経営学部）開校。 ○12月10日新4号国道（鉢形～国道50号線間）が暫定二車線で開通。 ○3月16日建設省宇都宮国道工事事務所小山出張所が開所。 ○3月国土利用計画小山市計画を改定。（60～65年） |
| 1988年 | 昭和63年 | <ul style="list-style-type: none"> ○4月3日小山城南中学校開校。 ○1月6日図書館コンピューター導入。 ○3月29日小山聖苑完成。 ○4月5日乙女中学校開校。 ○5月20日消防本部豊田分署移転新築完成。 ○7月13日船田章氏市長に初当選。 ○10月31日中島橋開通。 |
| 1989年 | 平成元年 | <ul style="list-style-type: none"> ○1月26日小山市生涯教育推進本部設置。 ○2月27日小山市庁舎別館完成。 ○4月1日小山市まちづくり協会設立。 ○7月15日延島小学校改築工事完成。 ○10月26日小山市制35周年記念式典開催。 ○11月2日人口14万人突破。 ○11月23日産業フェスティバル小山35開催。 |
| 1990年 | 平成2年 | <ul style="list-style-type: none"> ○3月6～11日文化センターで「小山市ゆかりの美術展」が開かれる。 ○7月1日老人福祉センター巡回バス運行開始。 |

1991年

平成3年

- 9月15日銀の店事業スタート。
- 10月3日思川シンポジウム開催。
- 10月14日ビーフピア思川 in おやま開催。
- 3月12日小山氏城跡鷲城跡、祇園城跡が国指定史跡となる。
- 3月小山市振興計画後期基本計画を策定。(H3～H7年)
- 3月国土利用計画小山市計画を改定。(H2～H7年)
- 3月25日北部清掃センター改築工事が完成。
- 6月18日岡儀平氏(中央町2丁目)が108歳で男性長寿日本一となる。
- 6月20日東北新幹線が東京乗り入れを開始。
- 7月27・28日第1回サマーフェスティバル開催。
- 8月3日フェスタ・イン鬼怒川開催。
- 8月18日小山・野木地区暴力追放総決起大会開催。
- 10月1日体育施設使用予約オンライン化スタート。
- 10月9～14日「小山市民友好訪中団」が遼寧省本溪市を訪問。
- 11月10日～12日中国本溪市人民代表大会の一行が市議会の招きで来市。

1992年

平成4年

- 2月4日第1回小山市文化振興大会開催。
- 3月地域情報化に関する意識調査まとまる。
- 3月小山市超長期ビジョン(西暦2020年に向けて)ができる。
- 3月2日大字中久喜の一部(東ニュータウン)に住居表示を実施。
- 3月13日「健康都市おやま」を宣言。
- 4月1日小山市財務会計(電子決裁)システムがスタート。
- 4月1日外国人相談窓口を開設。
- 4月白鷗大学に法学部新設。
- 4月8日新4号国道全線開通。
- 7月1日平和都市宣言。
- 7月5日船田章氏市長に再選。
- 7月30日観晃橋が4車線化全面開通。
- 8月6日全日本少年軟式野球大会で桑中クラブが全国制覇。
- 8月19日全国中学生重量挙げ選手権大会で小山の中学生が4階級制覇。
- 10月栃木県庁小山庁舎が開設、小山保健所など5つの事務所が入所。
- 12月1日～3日「中国・本溪画家十人展」が文化センターで開催される。

1993年

平成5年

- 12月17日小山駅新幹線停車本数増便連絡協議会設立。
- 3月小山市地域情報化構想を策定。
- 3月11日国道50号小山高架線2車線併用開始。
- 4月市庁舎完全週休二日制実施。
- 4月1日小山市みどりのまちづくり条例制定。
- 4月5日絹保育所が改築され開所。
- 4月22日中央図書館が開館。
- 6月12・13日県民の日記念行事「ハートフルおやま'93」開催。
- 7月16日県立県南体育館開館、ふれあい橋オープン。
- 8月平成5年度全国高等学校総合体育大会、栃木県開催。小山市に

| | | |
|-------|------|---|
| 1994年 | 平成6年 | <p>においてバスケットボール、ウェイトリフティング競技が実施される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○9月3日県南公設地方卸売市場開場。 ○1月在宅重度心身障害者デイケア事業スタート。 ○4月1日小山市都市景観条例施行される。 ○4月1～3日小山バルーンフェスタ開催。 ○6月9日駅西再開発ビル「ロブレ」オープン。 ○7月28日第76回全国高等学校野球選手権栃木大会で小山高等学校が足利高等学校を8－3で破り、18年ぶり3度目の甲子園出場となる。 |
| 1995年 | 平成7年 | <ul style="list-style-type: none"> ○10月24日おやま百景ガイドブック初版発行。 ○1月17日発生した阪神大震災の救助活動のため1月23～25日小山消防署員が神戸市へ出動。 ○2月10日城南高校線立体交差が開通。 ○4月5日～30日阪神大震災救助活動へ県を代表して、市職員1名が神戸市長田区へ25日間派遣され救助活動を行う。 ○6月25日市文化センターでNHK「のど自慢」の生中継が行われる。 ○7月26日NHK夏期巡回ラジオ体操が小山総合運動公園で開催される。 ○8月10日国道50号線の小山市内が全線4車線化となる。 ○10月1日墓園やすらぎの森開園。 ○10月16日小山市の人口15万人となる（人口推計）15万人目は塚崎の直井克敏さんの長男祐太ちゃん、市からベビーカーを贈る。 ○10月第10回国民文化祭を栃木県で開催。 <p>小山市において10月29日「民謡・民舞の祭典」・11月15日「道と文化のシンポジウム」が開催される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○11月8日寺野東遺跡が国指定史跡となる。以後、史跡整備事業に着手。 ○12月1日JR近距離新幹線「なすの」誕生。 ○12月1日市庁舎で分煙化を実施。 |
| 1996年 | 平成8年 | <ul style="list-style-type: none"> ○3月第4次小山市振興計画基本構想（H8～17年）及び前期基本計画（H8～12年）を策定。 ○7月8日船田章氏市長に3選。 ○7月15日絹地区を突風（ダウンバースト）が襲い、多くの被害が発生。 ○8月アトランタオリンピックに本市出身の神山雄一郎選手（自転車競技）と堀越典昭選手（ウェイトリフティング）が出場。 ○8月市内の中学生11人が被爆地広島市を訪問し、平和記念式典に参列。 ○10月1日小山東出張所開設。 ○10月1日ごみの7分別収集がスタート。 ○10月1日中央清掃センター粗大ごみ処理施設竣工、操業開始。 ○10月4日松原大橋開通。 ○10月27日城東公園のまちかど広場の完成記念イベント開催。 ○11月13日「災害時における小山市と葛飾区との総合応援に関する協定」が締結され葛飾区との交流が始まる。 ○11月23日県南公設地方卸売市場で市場まつり。 |
| 1997年 | 平成9年 | <ul style="list-style-type: none"> ○1月県内で初めて個人情報（レセプト）の開示を行う。 |

| | | |
|-------|-------|--|
| 1998年 | 平成10年 | <ul style="list-style-type: none"> ○3月8日城南第二土地区画整理事業地域の本換地に伴い、新町名東城南・西城南が誕生。 ○4月1日市環境基本条例が施行される。 ○4月6日日曜日の窓口サービス業務開設。 ○5月18日羽川西小学校が学校環境緑化コンクールで文部大臣賞を受賞。 ○8月1日小山総合公園にデイキャンプ場^ハ・ベキュー広場がオープン。 ○12月1日(財)小山市体育協会設立。 ○3月国土利用計画小山市計画を改定。(H10～17年) ○4月1日やはた保育所開所。 ○4月1日小山市自転車等の放置防止等に関する条例施行。 ○4月25日国史跡乙女不動原瓦窯跡の整備事業が終了し、「乙女かわらの里公園」開園。 ○7月6日栃木・小山合併協議会の初会合が小山グランドホテルで開かれる。 ○8月19日大相撲小山場所が県南体育館で行われる。 ○8月30日大雨により大雨災害対策本部が設置され、下生井地区等に避難勧告がだされ374人が市内小中学校に避難。 ○10月17日第1回小山市総合防災訓練を市役所第2駐車場及び小山第一小学校校庭で実施。 |
| 1999年 | 平成11年 | <ul style="list-style-type: none"> ○10月22日市環境課に電気自動車が納入される。 ○1月13日バンコク・アジア大会自転車男子スプリント競争で本市出身の神山雄一郎選手が金メダルを獲得。 ○2月市内中学生による模擬議会が市役所議場で行われる。 ○3月20日小山地域振興券が市内各所において交付される。 ○3月31日小山市ホームページ開設。 ○4月1日小山市ふれあい健康センターオープン。 ○4月17日使用済こいのぼりを集め小山総合公園において100匹のこいのぼりを遊泳させる。 ○6月1日市民から直接市長へメッセージを送る「市長への手紙」を開設。 ○10月1日市内高校生の取材編集による広報おやま「ステップバイステップ」が発行される。 ○8月5日～7日広島平和記念式典小山市中学生派遣団同行収録。(後日とちぎテレビで放映) ○9月20日郵政省から平成11年度上期のテレトピア構想モデル地域の指定を受ける。 ○9月21日～23日市長が間々田中・小山第三中・豊田中を訪問し、授業を行う。(後日とちぎテレビで放映) |
| 2000年 | 平成12年 | <ul style="list-style-type: none"> ○11月緑の基本計画を策定。 ○3月老人保健福祉計画(第2次計画)を策定。 ○4月1日テレビ小山放送開局。 ○5月28日石ノ上河川広場で初めての水防訓練実施。 ○7月1日国指定史跡寺野東遺跡の保存整備事業がはじまる。 ○7月16日市長選挙で大久保寿夫氏当選。 |

| | | |
|-------|-------|---|
| 2001年 | 平成13年 | <ul style="list-style-type: none"> ○8月15日、9月24日の集中豪雨で若木町3丁目、喜沢を中心に市内でそれぞれ91件、73件の床下浸水。 ○9月シドニーオリンピックのケイリンに本市出身の神山雄一郎選手が出場。 ○10月1日から市民課窓口業務午後7時まで延長。 ○10月12日小山総合公園内に県立温水プール館オープン。 ○10月14日都市整備公団施行による区画整理事業完了に伴い新町名美しが丘誕生。 ○11月より中央図書館・博物館の祝日開館実施。 ○12月よりテレビ小山が、インターネット接続を開始。 ○12月31日新世紀カウントダウン IN OYAMA を開催。 ○4月1日中央公民館の休日窓口業務開始。 ○4月市政モニター制度開始。 ○5月(財)小山市体育協会ホームページ開設。 ○5月「田んぼの学校」が中小学校で開校。 ○6月市民ポスト設置。 ○6月1日小山市民賞第1号として、川上知子さん(重量挙げ)を表彰。 ○6月小山市男女共同参画都市を宣言。 ○6月30日城北区画整理事業完了に伴い、城北・駅東通り3丁目と町名が変更される。 ○8月7日小山氏城跡中久喜城が国指定史跡となる。鷲城跡、祇園城跡の指定範囲広がる。 ○9月2日栃木県小山市総合防災訓練が石ノ上河川広場で実施される。 ○10月小山市中学生中国派遣団が中国本溪市を訪問。 ○12月3日小山駅始発新幹線の運行開始。 |
| 2002年 | 平成14年 | <ul style="list-style-type: none"> ○12月15日桜の里親記念植樹祭を実施。 ○1月汚泥再生処理センターが竣工。 ○2月顔写真付の小山市民証の発行を開始。 ○3月19日小山氏城跡、鷲城跡、祇園城跡の指定範囲広がる。 ○3月31日地域女性史「小山に生きた女性たち」を発刊。 ○4月1日生涯学習センターで市民課窓口業務を開始。 ○4月男女共同参画センター・勤労者福祉センター・ボランティア支援センターが開設。 ○4月4日生涯学習センターに「まちなか情報」検索パソコン3台を設置。 ○4月地域学習室を「子ども情報科学館」として土・日開放。 ○6月1日8名の女性消防団員が誕生。 ○6月17日地元産小山和牛の学校給食への導入。 ○6月台風6号により小宅橋が流失し、押切、中里、島田、塩沢地区等が冠水。 ○7月学校週5日制に伴い、小中学校の図書室・各公民館の開放、体育施設の無料化を実施。 ○8月小山西高校が甲子園初出場・初勝利。 ○9月20日摩利支天塚古墳の指定範囲広がる。 ○10月1日市民病院でオーダーリングシステム導入・2次救急医療体制 |

2003年

平成15年

の整備。

- 10月オーストラリア・ケアンズ市を訪問し教育、文化交流に合意。
- 10月19日女性模擬議会を開催。
- 11月JR思川駅旅客上屋が完成。
- 1月6日小山市地域イントラネットが運用開始。
- 1月20日コミュニティ道路愛護会（須賀神社参道）が道路の里親第1号に認定。
- 1月24日小山の地酒統一ブランド名が「小山評定」に決定。
- 3月親しむ通り愛称決定。
- 3月17日国道50号の市内全線4車線化が完了。
- 3月20日寒川小地内に市独自の地下水観測所を設置。
- 4月市立小中学校・保育所で敷地内全面禁煙を実施。
- 4月学校給食に地元産の米を使用した米パンを導入。
- 4月休日納税窓口相談を開設。
- 4月5日民設民営化第1号「こぐま保育園」が開園。
- 5月オールおやま食材利用の日を設定。
- 5月17日第1回小山ブランド祭りを開催。
市のマスコットキャラクターの愛称がピンキーとセグピーに決定。
- 7月1日小山聖苑の通夜時間を延長。
- 8月26日～9月2日第1回中学生オーストラリア派遣団がケアンズ市を訪問。
- 9月18日中心市街地活性化事業で、白鷗大学生運営のジャズ喫茶「OMOIGAWA CAFE」がオープン。
- 10月3日祇園城跡（旧思水荘跡）の愛称が小山御殿広場に決定。
- 10月12日中小「NHK全国学校音楽コンクール」で銀賞を受賞。
- 10月19日中心市街地活性化事業で「まちかど美術館」がオープン。
- 10月23日間々田公民館が優良公民館として文部科学大臣表彰を受賞。
- 11月24日思川を遡上してきた鮭で調理した鮭鍋を楽しむ「第1回思川サケまつり」を開催。

2004年

平成16年

- 12月18日小山駅とロブレが連絡橋でつながる。
- 12月26日台風6号で流失した小宅橋が開通。
- 1月1日「小山市生活安全に関する条例」が施行。
- 1月25日市制50周年記念オープン事業、市民能「小山安犬」を600年ぶりに復活させ公演。
- 3月1日駅西循環バスの実験運行を開始。
- 3月3日大字羽川の大沼が、大沼親水公園として整備される。
- 3月31日「小山市長期ビジョン・新おやま21ビジョン」（平成16～32年）を策定。
- 4月1日「小山市環境美化条例」及び「小山市人権尊重の社会づくり条例」が施行。
- 4月24日小山東部第一土地区画整理事業地内に「しいの実公園」・「犬塚南公園」が開園。
- 5月15日市制50周年記念式典・船田章前市長名誉市民顕彰式を開催。

2005年

平成17年

- 5月15日おやま百景ガイドブック改訂版発行。
- 5月15日本格はとむぎ焼酎「小山物語」を発売。
- 5月22・23日市民オペラ「小山物語」を公演。
- 6月パブリックコメント制度を導入。
- 6月4日し尿処理施設「小山広域クリーンセンター」が完成。
リサイクル堆肥「すくすく君」を生産。
- 6月12・13日2年間をかけてグラウンドワークで整備を進めた
「ほたるの館」が小山総合公園に完成、「第1回ほたるの館祭り」
を開催。
- 7月1日「小山市男女共同参画推進条例」が施行。
- 7月25日大久保市長再選される。
- 9月5日小山をPRする「小山評定ふるさと大使」を創設。
- 9月18・19日市制50周年記念事業「五街道どまん中サミット間々
田宿大会」が開催され、袋井市・檜川村・大月市・大田原市・黒磯
市・小山市が参加。
- 10月1～11日市制50周年記念企画美術展「山中仁太郎・飯田張2
人展」を、市生涯学習センターにおいて開催。
- 10月17日「第1回ハンドベルフェスタ in OYAMA」を市文化セン
ターで開催。
- 10月25日プレミアム付小山市共通商品券を発売。
- 10月30日国指定史跡「寺野東遺跡」の史跡整備が完了し「おやま
縄文まつりの広場」として開園。「第1回寺野東遺跡縄文まつり」
を開催。
- 11月6日市制50周年記念事業「第14回小山市文化振興大会」に
おいて、舞踊劇「花は散り水は流れる」を上演。
- 11月17日小山駅東口にエスカレーターを設置。
- 2月2日小山御殿広場案内解説板及び標柱を設置。
- 3月1日県内初「遠隔相談窓口システム」の運用開始。
- 3月2日小山氏城跡、祇園城跡の指定範囲広がる。
- 3月15日小山城南中校舎増築工事が完成。
- 3月25日喜沢第二雨水幹線新設工事が完成。
- 3月31日第4次小山市行政改革大綱を策定。
- 4月1日小学校英語教育構造改革特区事業の認定を受け、市内9小
学校を研究推進校として、「英語科」の授業を実施。
- 4月1日「小山市地区まちづくり条例」および「小山市開発行為の
基準に関する条例」が施行。
- 4月23日城南公園がオープン。
- 5月16日市民課自動受付システムの運用開始。
- 6月16日中央町2丁目地内に子育て支援センターを開所。
- 7月1日市内5路線で地域コミュニティバスの実験運行を開始。
- 7月8日農業集落排水事業延島地区処理施設が供用開始。
- 7月16日小山駅で「小山駅開業120周年記念イベント」が開催。
- 7月20日美田中校舎改築工事が完成。
- 8月10日国土交通省が道の駅「思川」の登録を承認。
- 8月19日シニア元気回復トレーニングセンターが開所。

2006年

平成18年

- 10月1日国勢調査で人口が160,142人となり、県内第2位の都市となる。
- 10月3日「おやまブランドピンキーちゃん人形」販売開始。
- 10月6日中央図書館内にビジネス支援コーナーを開設。
- 11月1日小児初期救急医療を開始。
- 11月1日県道小山結城線延伸部が開通。
- 11月5日第2回ハンドベルフェスタ in OYAMA を市文化センターで開催。
- 11月27日中国紹興市と「友好交流関係を発展させる覚書」を締結。
- 12月17日とちぎ元気フォーラム in 小山が県南体育館で開催される。
- 1月7日土・日曜日も業務を行う城南出張所が開所。
- 1月13日 JR 宇都宮線の横倉踏切拡幅改修工事（三峯地内）が完成。
- 1月13日史跡寺野東遺跡資料館が入館者1万人を達成。
- 1月26日小山氏城跡、祇園城跡の指定範囲が広がる。
- 2月2日羽川の大沼トイレを開設。
- 2月4日間々田第二学童保育館が開所。
- 3月4日、5日古川龍生展において「小山の日」を開催。
- 3月5日移動式天体望遠鏡搭載車「ほっしー★OYAMA」初披露。
- 3月31日 JR 間々田駅東西口エレベーターの開通と東口の公衆トイレが竣工。
- 3月31日小山市総合基本構想・基本計画（H18～22年）を策定。
- 4月1日市民課窓口を土曜・日曜日も開設。
- 4月1日英語教育推進特区事業を市内全小学校で実施。
- 4月1日「小山市文化芸術振興条例」が施行。
- 4月1日市内30施設において指定管理者制度を導入。
- 4月1日保健・福祉センターに保健福祉部の窓口を一元化し、「福祉に関する総合案内」を新設。
- 4月22日下生井桜づつみ整備事業が完成。
- 4月15日平成公園がオープン。
- 4月29日道の駅「思川」がグランドオープン。
- 5月15日豪州ケアンズ市において姉妹都市盟約書に調印。
- 7月1日城東・中久喜循環バスの実験運行を開始。
- 7月1日絹ふれあいの郷を開所。
- 7月13日紹興市教育友好訪問団が来日。
- 8月21日酷暑対策として全小・中学校に扇風機を設置。
- 9月20日紹興市に高校生5人を初めて派遣。
- 9月23日第1回おやま開運まつりを開催。
- 10月1日資源系廃棄物の無断回収禁止条例の罰則規定を施行。
- 10月20日自治会連合会設立40周年記念式典挙行。
- 10月22日第3回ハンドベルフェスタ in OYAMA を市文化センターで開催。
- 10月29日小山城南中で創立20周年記念式典挙行。
- 10月29日小山NHK大河ドラマ「功名が辻」で、史実「小山評定」が大きく取り上げられ、全国に放映される。
- 10月30日日本経済新聞社の調査で、本市の行政サービスが、全国

2007 年

平成 19 年

- 764 市区で第 31 位に評価される。
- 11 月 11 日羽川西小で創立 30 周年記念式典挙行。
 - 1 月 4 日市民課、桑出張所、博物館に証明書自動交付機システムを導入。(博物館の証明書自動交付機システムは、間々田市民交流センターがオープンした平成 21 年以降は同センターに移設)
 - 3 月 12 日羽川地区整備事業完成。(市道 1513 号線改良工事)
 - 3 月 23 日小山市と白鷗大学が、相互の密接な連携と協力により、地域社会の発展を目指す協定書に調印。
 - 3 月 24 日まちの駅をオープン。
 - 3 月 25 日悠遊公園・どんぐり山公園がオープン。
 - 3 月 28 日 JR 水戸線雨ヶ谷踏切で、歩道新設と踏切改良が完成。
 - 3 月 31 日文化センターリニューアル工事が完成。
 - 3 月 31 日市内全域に、光ケーブルによるケーブルテレビ放送施設を整備。
 - 4 月 1 日市内 9 施設において、指定管理者制度を導入。
 - 4 月 1 日民間建築物露出吹付けアスベスト対策の助成スタート。
 - 4 月 1 日農地・水・環境保全向上対策がスタート。
 - 4 月 1 日教育委員会事務局を中央市民会館に移転。
 - 4 月 6 日美田中新屋内運動場が完成。
 - 4 月 11 日文書館をオープン。
 - 5 月 13 日ひまわり広場がオープン。
 - 5 月 26 日青蓮寺公園・西坪公園がオープン。
 - 6 月 1 日安全安心等情報をメール配信スタート。
 - 6 月 16 日穂積小で創立 90 周年・新校旗樹立記念式典挙行。
 - 6 月 18 日大谷北小新プール完成式典挙行。
 - 7 月 10 日農業集落排水事業福良地区処理施設が供用開始。
 - 8 月 1 日県内 14 市初となる「公開用 Web GIS システム」運用開始。
 - 8 月 25 日小山東出張所内に子育て広場「小山ひがし」をオープン。
 - 9 月 15 日「カスリーンメモリアル 60in おやま」を道の駅「思川」で開催。
 - 10 月 7 日寒河尼地頭就任 820 年記念講演会を文化センターで開催。
 - 10 月 17 日須賀神社前歩道橋(通称太鼓橋)が老朽化のため撤去。
 - 10 月 21 日第 4 回ハンドベルフェスタ in OYAMA を市文化センターで開催。
 - 12 月 1 日「わたしの市民便利帳」を創刊。
 - 12 月 2 日 NHK 「のど自慢」が、平成 7 年 6 月以来 12 年ぶりにリニューアル工事が完了した文化センターで開催。
 - 12 月 15 日ロッテ成瀬投手・ヤクルト飯原選手歓迎パレードを小山駅西口から市役所間で開催。沿道には、約 1 万人のファンが熱い声援を送る。
- 2008 年
- 平成 20 年
- 1 月 9 日(仮称)間々田市民交流センター建設工事起工式が行われる。
 - 2 月 9 日第 2 回おやま開運まつりの「歴史へのいざない」で、市民劇「小山評定」を上演。
 - 3 月 1 日地域コミュニティバス、駅西口始発の桑絹北路線・桑絹南路線と駅東口発の大谷東路線・大谷西路線が運行し、小山市バスネ

2009年

平成21年

- ネットワークの整備完了。
- 3月18日間々田駅東口駅前広場が完成。
- 3月22日新小山駅東口広場への一般車両の乗り入れを開始。
- 4月1日市内9施設において、指定管理者制度を導入。
- 4月6日小山地区夜間休日急患センター診療開始。
- 4月7日旭小校舎増築工事完成式典を挙げる。
- 4月11日美田中学校改築事業完了式典を挙げる。
- 4月21日小山城東小に外国人児童生徒適応指導教室を開室。
- 5月25日小山南工業団地竣工式挙げる。全15区画(14社が進出)と管理棟の造成工事が完了。
- 6月1日環境都市宣言記念式典を挙げる。
- 6月23日「小山市民元気あっぷ体操」お披露目を開催。
- 7月7日環境都市宣言記念「自然エネルギー観察塔」除幕式を挙げる。
- 7月27日大久保市長3選。
- 8月1日インキュベーション・オフィス「ビジネスプラザおやま駅前」を開設。
- 8月7日利根川治水同盟治水大会を開催。
- 8月10日図書館開館30周年記念式典を挙げる。
- 10月1日小山評定ふるさと応援基金条例施行。
- 10月22日小山市、野木町、小山農協による菜の花プロジェクト協定書締結。
- 11月30日おもいがわ映画祭を開催。
- 12月2日緊急経済対策本部を設置。
- 1月25日間々田東小第二学童保育館開所。
- 1月28日新型インフルエンザ対策本部を設置。
- 3月14日学校南公園がオープン。
- 3月22日乙女下町公園・ひばり公園がオープン。
- 3月25日大日橋架け替え完了。
- 3月26日間々田駅西口広場が完成、東口広場に「南飯田神田囃子の像」を設置。
- 3月28日大正寺公園・大割公園がオープン。
- 3月29日市道4号線・271号線開通。
- 4月1日こども医療費助成を中学3年生まで拡大。妊婦健診助成回数を7回から14回に倍増。
- 4月4日間々田市民交流センター「しらさぎ館」を開館。
- 4月4日車屋美術館を開館。
- 4月12日絹ふれあい広場完成式典挙げる。
- 4月12日第1回おやま思川ざくらマラソン大会を開催。
- 4月12日どんぐり公園がオープン。
- 4月13日外国人児童生徒適応指導教室専用棟完成式典挙げる。
- 4月19日ひだまりの丘公園・千手観音公園がオープン。
- 4月23日定額給付金給付開始。
- 5月25日中小学校プール完成式典挙げる。
- 7月31日思川へのアプローチ第1期工事の完成。
- 9月1日市内公共施設33か所に「赤ちゃんの駅」設置。

2010年

平成22年

- 10月10・11日舟運社会実験「思川舟運の歴史を訪ねて」を実施。
- 10月13日中学生模擬議会を開催。
- 10月22日中国紹興市と「友好交流関係都市に関する協定書」に調印。
- 11月14日市制55周年記念式典を挙げる。
- 1月30日思川桜の里親千本記念植樹祭を開催。
- 3月11日羽川大沼、「国のため池百選」に選定。
- 3月15日JR宇都宮線の第二境街道踏切が完成。
- 3月27日あおぞら公園がオープン。
- 3月29日結城市と「災害時における相互応援に関する協定」を締結。
- 4月1日コンビニエンスストアでの収納代行業務を開始。
- 4月1日ヒブワクチン費用の一部助成を開始。
- 4月1日市観光協会が一般社団法人として事業をスタート。
- 4月1日小山市民農園がオープン。
- 6月18日小山政光公と寒川尼のモニュメント完成。
- 7月21日エコファミリー認定事業開始。
- 7月27日「コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム」を設立。
- 8月2日外部委員による事務事業第三者評価を延べ5日間の日程で実施。
- 9月30日渡良瀬遊水地がラムサール条約潜在候補地に選定。
- 10月1日小山コミュニティバス「桑絹南北路線、大谷東西路線」のデマンドバス化。
- 10月12日小山駅中央自由通路整備工事着工。
- 10月30日第1回グリーンツーリズム（農村宿泊体験ツアー）の実施。
- 11月16日日本場結城紬がユネスコ無形文化遺産に登録。
- 12月16日サントリーフーズ、関東フーズサービスと災害時救援物資供給協定締結。

2011年

平成23年

- 12月18日ニューピンキー誕生、お披露目。
- 12月18日小山評定410年記念シンポジウム開催。
- 12月27日新市民病院建設基本構想策定。
- 2月1日日本場結城紬着用推進事業（新成人購入補助）実施。
- 2月26日桜の里親10周年記念植樹祭の開催。
- 3月9日間々田のジャガマイタが国選択無形民俗文化財に選定。
- 3月11日東北地方太平洋沖地震発生、災害対策本部設置。
- 3月16日県南体育館に避難所設置。
- 3月23日「小山を100倍楽しめる本」刊行。
- 3月25日マンガでわかる「小山ブランド」電子コミック版掲載。
- 4月1日第6次小山市総合計画スタート。
- 4月1日小山東工業団地分譲開始。
- 4月5日思川桜・彼岸花第1回写真コンテスト実施。
- 4月7日宮城県大崎市へ復興支援のため職員派遣。
- 4月18日牧ノ内古墳から国内最大級の竪穴住居遺構発見。
- 5月11日開運小山うどん会設立。
- 6月9日放射線測定器13台購入。小中学校、公民館、保育所・園等で測定開始。
- 6月11日思川駅及び周辺整備事業完成。

2012年

平成24年

- 7月1日家庭で節電コンテスト実施。
- 7月2日節電による製造業土日稼働に伴う保育所の土日祝日保育実施。
- 7月6日城山町3丁目第1地区市街地再開発事業起工。
- 7月7日少年消防クラブ発足。
- 7月14日結城紬ユネスコ無形文化遺産代表一覧表記記載認定書伝達。
- 7月16日網戸大橋に東京スカイツリーの高さを示すラインとパネル設置。
- 8月1日学生消防団員へ辞令交付。
- 9月8日柔道海老沼匡選手に市スポーツ特別賞授与。
- 9月24日一夜御殿まつり開催。
- 10月9日第1回おやま検定実施。
- 10月29日「小山評定武将列伝」刊行。
- 11月3日宮城県大崎市と災害時相互応援協定締結。
- 11月4日とちぎ元気グルメ選手権で「おやま和牛串焼き」が3位。
- 11月7日小山三中と中国紹興市樹人中が友好交流関係締結。
- 12月1日寒川公民館が優良公民館表彰（文科省）受賞。
- 12月4日日本場結城紬ファッションショー開催。
- 1月16日学校給食1週間分全ての食材の放射性物質測定開始。
- 1月24日学校給食丸ごと放射性物質測定開始。
- 1月27日小山高専と包括連携協定締結。白鷗大に続き2例目。
- 1月30日郵便事業（株）小山支社と「高齢者見守り訪問事業協力に関する協定書」締結。
- 2月6日子ども甲状腺検査基金開始。
- 2月17日小山駅ビルに「しもつけ銘品館・サクラミチ」開店。
- 3月11日職員非常参集訓練実施。
- 3月21日県道栃木小山線立木工区4車線化供用開始。
- 3月24日放射性物質簡易測定器を道の駅「思川」に設置。
- 4月1日日本場結城紬技術習得研修職員を採用。
- 4月1日災害時相互応援協定に基づき宮城県大崎市へ建築士1名を1年派遣。
- 4月7日小野塚イツ子記念館開館。
- 4月14日巴波川決壊口祈念公園完成。
- 4月17日電子コミックマンガでわかる「おやまブランド」第2話『日本一はとむぎ』発刊。
- 4月21日「政光くん」「寒川尼ちゃん」お披露目。
- 5月13日小山の歴史まんが「小山評定」発刊。
- 5月13日県道栗宮喜沢線拡幅工事完成。
- 6月2日青年国際交流大使任命。
- 6月23日小山駅中央自由通路（さくら道）開通。
- 7月3日渡良瀬遊水地がラムサール条約登録湿地となる。
- 7月22日大久保市長4選。
- 7月28日ロンドンオリンピック競泳男子400m個人メドレーで萩野公介選手が銅メダル獲得。
- 7月29日ロンドンオリンピック柔道男子66kg級で海老沼匡選手が銅

2013年

平成25年

- メダル獲得。
- 8月4日小山市中・高校生消防サポーターズクラブ制度創設。
 - 8月16日海老沼匡選手にスポーツ特別賞授与、小山評定ふるさと大使委嘱。
 - 8月24日第1回小山の日本一ビールまつり開催。
 - 8月24日萩野公介選手にスポーツ特別賞授与、小山評定ふるさと大使委嘱。
 - 9月8日ふゆみずたんぼ米初収穫。「ラムサール3思米」と命名。
 - 10月1日本場結城紬着心地体験街歩き事業開始。
 - 10月1日中公民館に研修室が完成。公募により「うずま館」と命名。
 - 10月15日電子コミックマンガでわかる「おやまブランド」第3話コネスコ無形文化遺産登録『本場結城紬』発刊。
 - 11月27日海老沼匡・萩野公介選手に市民栄誉賞授与。
 - 12月23日小山御殿造営390年記念講演会。
 - 1月14日第63回県南5市対抗親善駅伝競走大会総合2連覇。
 - 2月16日大字土塔・犬塚・横倉新田の一部を犬塚6・7・8丁目に町名地番変更。
 - 3月1日小山駅東口駐輪場完成。
 - 3月14日第1回開運のまち『おやま』景観賞。公共の部大賞に小山駅中央自由通路と東口、民間の部大賞に録ミュージアム、自然景観特別賞に富士山を望む渡良瀬遊水地
 - 3月15日おやま米粉マイスター委嘱。
 - 3月26日小山市城南市民交流センター（ゆめまち）オープン。
 - 3月27日城山町三丁目第一地区再開発ビル（城山・サクラ・コモン）竣工。
 - 3月27日城山・サクラ・コモン内に子育て支援総合センター開設。
 - 4月1日地方独立行政法人「新小山市民病院」開院。
 - 4月1日水道料金引下げ。
 - 4月1日みずぼうそう、おたふくかぜの予防接種費一部助成。
 - 4月1日羽川小・絹学校給食共同調理場業務委託。全共同調理場の委託完了。
 - 4月1日職員被災地長期派遣（東松島市へ事務職員1名1年間）。
 - 4月1日統合型内部事務システム稼動。
 - 4月20日拡声器付き災害情報伝達システム運用開始。
 - 4月23日ラムサールホンモロコ養殖事業開始。
 - 5月16日「小山市本場結城紬復興振興5カ年計画」策定。
 - 5月28日「いじめゼロ子どもサミット」開催、おやまっ子いじめゼロ宣言採択。
 - 6月10日市内全小・中学校ヨシズによる日よけ効果実証実験開始。
 - 6月18日小山市人口16万5千人に到達。
 - 6月24日小山北桜高校と「桜の里親制度推進に関する協定」締結。
 - 7月8日「小山市いじめ等防止市民会議」開催。
 - 8月2・3日「第1回 こども小山評定」開催。
 - 8月9～11日「アジア環境創造型稲作技術会議2013」開催。
 - 8月12日小山市地域包括支援センターの愛称「高齢者サポートセン

2014年

平成26年

- ター」に決定。
- 9月17日小山市新消防本部庁舎開庁。
 - 9月21日「第1回 月見の宴」開催。
 - 10月14日とちぎ元気グルメまつり in 那須塩原で、みそ家米ぞうの「おやま和牛ステーキ串」がグランプリ、小山北桜高校の「元祖おやま和牛入りかんばんようカレーパン」が準グランプリ、桑地区わがまち発掘推進協議会「桑の里うどん」が上位入賞。
 - 10月20日小山市市民活動センター「おやま〜るまつり」開催。
 - 11月4日日本経済新聞社産業地域研究所が初めて実施した全国市区高齢化対応度調査において、小山市が全国総合1位。
 - 11月16日を「小山きもの日」に制定。
 - 12月7日一般県道小山下野線（出井工区）開通式。
 - 12月10・12日「ラムサールホンモロコ」を使った給食試食会。
 - 1月14日「緑の健康づくりの森整備事業（健康医療介護総合支援センター）」起工式開催。
 - 2月1日市制60周年記念オープニング事業 市民能「小山安犬」再演。
 - 2月3日中公民館文部科学省の第66回優良公民館表彰。
 - 2月26日農作物及び農業施設への被害（2月14・15日の記録的大雪）に対する支援策発表実施。
 - 3月『ラムサール条約湿地登録 渡良瀬遊水地の文化遺産』発行。
 - 3月 市制60周年記念『小山の歴史』発行。
 - 3月4日市内全小・中学校普通教室等エアコン設置完了。若木小で完成式。
 - 3月14日小山市人事異動で女性管理職の割合が24.5%に拡大。
 - 3月16日小山駅東口新駅前広場完成。
 - 3月24日新小山市市民病院建設事業起工式開催。
 - 4月 毎月8日を「おやまわ（和）食の日」に決定。
 - 4月「小山市渡良瀬遊水地・本場結城紬学習ブック」を市内全小・中学校に配布。
 - 4月1日小山市本庁舎防犯カメラ設置。
 - 4月1日「自己アピール」職員2名採用。
 - 4月1日「紬織士」職員採用。
 - 4月1日職員被災地長期派遣（東松島市へ事務職員1名1年間）。
 - 4月3日小山市人口対策戦略本部設置
 - 6月27日県内で初めて「スポーツ都市」を宣言
 - 7月7日日本経済新聞社産業地域研究所発表の「全国813市区女性活用度調査」全国第11位に
 - 7月14日サッカーJ2栃木SCと地域支援パートナー協定締結
 - 9月12日小山市女性職員開運塾設置
 - 9月オレンジリボンキャンペーンソング「まあるいこころ」完成
 - 10月市制60周年記念「小山市水利誌」刊行
 - 10月ラムサール条約湿地登録渡良瀬遊水地「チュウヒの里おやま」パンフレット発行
 - 10月1日小山市空き家バンク制度創設
 - 10月1日使用済み小型家電の無料回収開始

2015年

平成27年

- 10月2日茨城県結城市との友好都市盟約を締結
- 10月4日～7日ねんりんピック栃木2014inおやま開催
- 10月26日小山市制施行60周年記念式典挙行
- 10月26日県外5市1区（兵庫県西宮市・静岡県富士宮市・富山県南砺市・福井県あわら市・群馬県富岡市・東京都世田谷区）と災害時応援協定を締結
- 11月1日・2日第1回OYAMAスイーツフェスタ開催
- 11月8日第1回ツール・ド・おやま2014開催
- 12月7日市制60周年記念市民オペラ「小山物語」再演
- 2月7日～9日とちぎ花フェスタ2015 inおやま開催
- 2月8日NHK「のど自慢」が、平成19年12月以来8年ぶりに文化センターで開催
- 3月乙女河岸完成
- 3月小山市子ども・子育て支援事業計画の中で「小山市子どもの貧困撲滅5カ年計画」策定
- 3月ふゆみずたんぼオーナー制度導入
- 3月10日・19日市内小・中学校で渡良瀬遊水地のヨシを利用した卒業証書の授与
- 3月30日小山市健康医療介護総合支援センターオープン
- 4月1日小山市オープンデータサイト（試行版）開設
- 4月1日公衆無線LAN OYAMA FREE Wi-Fi 開始
- 4月1日政光くん・寒川尼ちゃんをモデルとした「ご当地婚姻届」受付開始
- 4月1日小山市初「女性消防吏員」2名採用
- 4月1日小山市税のペイジー納付取扱い開始
- 4月1日職員被災地長期派遣（東松島市へ事務職員1名1年間）
- 5月21日～24日 結城紬新作発表会
- 6月22日東洋経済新報社発表の「第22回住みよさランキング」県内1位、全国791都市で総合77位
- 6月29日「小山地区定住自立圏構想実現」のために「中心市宣言」
- 7月1日路上喫煙防止条例施行
- 8月20日政光くん・寒川尼ちゃんのFacebook開設
- 8月28日クックパッドに公式ページ「小山市の公式キッチン」開設
- 8月29日小山御殿広場リニューアルオープン
- 9月「るるぶ特別編集 小山」発行
- 9月3日新・BS日本のうたを文化センター大ホールで開催
- 9月9日～10日平成27年9月関東・東北豪雨
- 10月小山市人口ビジョンおよび小山市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定
- 10月15日おやまファイアーレディーズ第22回全国女性消防操法大会準優勝
- 10月24日徳川家康400年記念事業 日光社参ウォーク開催
- 11月23日政光くん・寒川尼ちゃんがゆるきゃら®グランプリ全国8位
- 12月25日夜間休日急患診療所、休日急患歯科診療所オープン
- 1月4日新小山市市民病院新築オープン

2016年

平成28年

2017年

平成29年

- 3月小山市地域医療推進基本計画策定
- 3月第7次小山市総合計画策定
- 3月1日住民票・印鑑登録証明書・戸籍証明書のコンビニ交付開始
- 3月24日絹地区分遣所業務開始
- 3月28日桑市民交流センター（マルベリー館）オープン。
- 3月30日間々田乙女排水機場完成
- 3月31日南部清掃センター完成
- 4月1日小山市人事異動で女性の管理監督職の割合が過去最高の27.7%に拡大。
- 4月おやま英語教育のまち推進5か年計画策定
- 4月4日庁内会議の名称を「評定」へ変更
- 4月7日小山地区定住自立圏形成協定締結
- 5月1日キッズランドおやま、本場結城紬クラフト館がロブレに同時オープン
- 6月30日県立小山北桜高校と包括連携協定締結
- 7月1日C&Kに小山評定ふるさと大使委嘱
- 8月防犯カメラ設置補助金交付制度開始
- 8月31日国営かんがい排水事業「栃木県南部地区」栃木南部農業水利事業所開設
- 9月被災者住宅復旧支援条例制定
- 9月30日リオ五輪銅メダリスト海老沼匡選手へ市民栄誉賞授与
- 10月栃木銀行と人と企業を呼び込む「産業・観光振興等の連携に関する協定」締結
- 10月1日小山市役所イクボス宣言
- 10月3日小山いきいき好齢者相談窓口・応援サイト開設
- 10月18日小山地区定住自立圏構想共生ビジョン策定
- 10月31日リオ五輪金メダリスト萩野公介選手へ市民栄誉賞授与
- 11月ラムサールナマズを初出荷
- 11月1日中央図書館に新電算システムの自動貸出機を導入
- 11月15日(株)カインズと「災害時物資供給協定」締結
- 11月22日学生消防団活動認証制度開始
- 12月8日(株)ベシヤと「災害時物資供給協定」締結
- 12月20日宇都宮大学おやまサテライトプラザをロブレに開設
- 12月21日市内全郵便局と包括連携協定締結
- 2月2日(株)小山ブランド思川と「災害時における管理施設の使用等に関する協定」締結
- 2月11日小山市出身の力士を応援する会、小山市栃木ゴールデンブレイブスを応援する会の設立
- 3月小山市役所本庁舎建替え決定
- 4月「ふるさとガイドおやま」（改訂版）発行
- 4月1日おやま開運未来塾オープン
- 4月10日絹義務教育学校開校式
- 4月29日まちの駅思季彩館リニューアルオープン
- 4月～6月小山市プレDC特別ツアーの実施
- 6月1日ふるさと納税「ヤクルト愛の見守り訪問活動」を返礼品化

- 6月住宅金融支援機構と連携協定締結
- 6月小山市国民健康保険「レディースドッグ」の助成を開始
- 6月小山市を本拠地とする栃木ゴールデンブレースと「地域支援パートナー連携協定」締結
- 6月上旬～8月下旬市役所本庁舎「建替え整備」に向け、埋蔵文化財調査を実施
- 7月3日渡良瀬遊水地ラムサール条約湿地登録5周年

歴代二役（三役）

平成29年4月1日現在
秘書広報課調

市長

| 代 | 氏名 | 在任期間 |
|----------|-------|---------------------------|
| 市長職務執行者 | 高崎秀雄 | 昭和29年 3月31日 ~ 昭和29年 5月17日 |
| 初代~ 4代 | 山中泰輔 | 昭和29年 5月18日 ~ 昭和45年 5月17日 |
| 5代~ 8代 | 栗田政夫 | 昭和45年 5月18日 ~ 昭和59年 8月25日 |
| 9代 | 小林武夫 | 昭和59年 9月30日 ~ 昭和63年 6月11日 |
| 10代~ 12代 | 船田章 | 昭和63年 7月31日 ~ 平成12年 7月30日 |
| 13代~ | 大久保寿夫 | 平成12年 7月31日 ~ 現在 |

副市長

| 代 | 氏名 | 在任期間 |
|-----|-------|---------------------------|
| 初代 | 小久保吉雄 | 平成19年 4月 1日 ~ 平成23年 3月31日 |
| 2代~ | 宮嶋誠 | 平成23年 4月 1日 ~ 現在 |

助役

| 代 | 氏名 | 在任期間 |
|----------|-------|---------------------------|
| 初代 | 山中泰輔 | 昭和29年 3月31日 ~ 昭和29年 5月17日 |
| 2代~ 3代 | 渡辺留吉 | 昭和30年 3月22日 ~ 昭和38年 3月21日 |
| 4代 | 中田邦太郎 | 昭和38年 5月11日 ~ 昭和40年 3月31日 |
| 4代 | 栗田政夫 | 昭和38年 5月11日 ~ 昭和40年 3月31日 |
| 5代 | 鈴木長治 | 昭和42年 7月 5日 ~ 昭和46年 7月 4日 |
| 6代~ 9代 | 小川仁 | 昭和47年 4月 1日 ~ 昭和63年 3月31日 |
| 8代~ 9代 | 長瀬親次郎 | 昭和56年10月 1日 ~ 昭和59年 8月25日 |
| 10代 | 荒井龍 | 昭和63年12月23日 ~ 平成 4年12月22日 |
| 11代~ 12代 | 稲葉芳雄 | 平成 5年 3月 1日 ~ 平成12年 7月30日 |
| 13代~ 14代 | 松本久男 | 平成13年10月 1日 ~ 平成19年 3月31日 |

収入役

| 代 | 氏名 | 在任期間 |
|----------|-------|---------------------------|
| 初代~ 4代 | 古川好一 | 昭和30年 3月 8日 ~ 昭和46年 3月 7日 |
| 5代~ 6代 | 福田督次 | 昭和46年 8月20日 ~ 昭和54年 8月19日 |
| 7代 | 高岩茂 | 昭和54年 8月20日 ~ 昭和58年 8月19日 |
| 8代~ 10代 | 島村侃志 | 昭和62年 4月 1日 ~ 平成11年 3月31日 |
| 11代 | 堀木彰 | 平成11年 7月 1日 ~ 平成12年 7月30日 |
| 12代~ 13代 | 宮田登志雄 | 平成13年10月 1日 ~ 平成19年 3月31日 |

歴代正副議長

平成29年7月1日現在
議 事 課 調

議 長

| 代 | 氏 名 | 在 任 期 間 |
|---------|---------|---------------------------|
| 初代～ 2代 | 石 崎 亀三郎 | 昭和29年 4月 1日 ～ 昭和34年 3月30日 |
| 3 代 | 坪野谷 久 平 | 昭和34年 4月13日 ～ 昭和36年 4月15日 |
| 4 代 | 金 子 茂 | 昭和36年 4月15日 ～ 昭和38年 4月29日 |
| 5代～ 6代 | 阿久津 治 夫 | 昭和38年 5月10日 ～ 昭和42年 4月29日 |
| 7 代 | 松 本 清 一 | 昭和42年 5月12日 ～ 昭和44年 6月20日 |
| 8代～ 9代 | 金 子 茂 | 昭和44年 6月20日 ～ 昭和46年 4月29日 |
| 10 代 | 高 島 一 郎 | 昭和46年 5月13日 ～ 昭和48年 6月18日 |
| 11代～12代 | 長 瀬 親次郎 | 昭和48年 6月18日 ～ 昭和50年12月22日 |
| 13 代 | 植 野 保 正 | 昭和50年12月22日 ～ 昭和53年 9月29日 |
| 14 代 | 岸 好 | 昭和53年 9月29日 ～ 昭和54年 4月29日 |
| 15 代 | 長 瀬 親次郎 | 昭和54年 5月15日 ～ 昭和56年 6月25日 |
| 16 代 | 植 野 保 正 | 昭和56年 6月25日 ～ 昭和58年 4月29日 |
| 17 代 | 野 村 春 夫 | 昭和58年 5月17日 ～ 昭和60年 3月13日 |
| 18代～19代 | 橋 本 金次郎 | 昭和60年 3月13日 ～ 昭和63年 3月14日 |
| 20 代 | 峰 崎 茂 | 昭和63年 3月30日 ～ 平成 元年 9月11日 |
| 21 代 | 横 塚 進 | 平成 元年 9月11日 ～ 平成 3年 4月29日 |
| 22 代 | 左 卷 秀 三 | 平成 3年 5月17日 ～ 平成 5年 6月25日 |
| 23 代 | 渡 辺 直 治 | 平成 5年 6月25日 ～ 平成 7年 4月29日 |
| 24 代 | 森 田 総 一 | 平成 7年 5月17日 ～ 平成 9年 6月23日 |
| 25 代 | 木 戸 健 志 | 平成 9年 6月23日 ～ 平成11年 4月29日 |
| 26 代 | 本 橋 徳太郎 | 平成11年 5月18日 ～ 平成13年 6月27日 |
| 27 代 | 椎 名 寛 | 平成13年 6月27日 ～ 平成13年12月21日 |
| 28 代 | 大 山 典 男 | 平成13年12月21日 ～ 平成15年 4月29日 |
| 29 代 | 手 塚 茂 利 | 平成15年 5月20日 ～ 平成17年 6月22日 |
| 30 代 | 山 口 忠 保 | 平成17年 6月22日 ～ 平成19年 4月29日 |
| 31 代 | 松 島 不 三 | 平成19年 5月16日 ～ 平成21年 6月25日 |
| 32 代 | 石 渡 丈 夫 | 平成21年 6月25日 ～ 平成23年 4月29日 |
| 33 代 | 野 村 広 元 | 平成23年 5月17日 ～ 平成25年 6月27日 |
| 34 代 | 大 山 典 男 | 平成25年 6月27日 ～ 平成27年 4月29日 |
| 35 代 | 関 良 平 | 平成27年 5月19日 ～ 平成29年 6月22日 |
| 36 代 | 小 川 亘 | 平成29年 6月22日 ～ 現在 |

副 議 長

| 代 | 氏 名 | 在 任 期 間 |
|--------|---------|---------------------------|
| 初 代 | 山 中 徹 雄 | 昭和29年 4月 1日 ~ 昭和30年 3月30日 |
| 2 代 | 中 村 斌 | 昭和30年 4月11日 ~ 昭和34年 3月30日 |
| 3代~ 4代 | 阿久津 治 夫 | 昭和34年 4月13日 ~ 昭和38年 4月29日 |
| 5 代 | 速 水 進 | 昭和38年 5月10日 ~ 昭和40年 6月16日 |
| 6 代 | 松 本 清 一 | 昭和40年 6月16日 ~ 昭和42年 4月29日 |
| 7 代 | 塚 原 彪 | 昭和42年 5月12日 ~ 昭和44年 6月20日 |
| 8 代 | 高 島 一 郎 | 昭和44年 6月20日 ~ 昭和45年 6月19日 |
| 9 代 | 岡 本 司三郎 | 昭和45年 6月19日 ~ 昭和46年 4月29日 |
| 10 代 | 岸 好 | 昭和46年 5月13日 ~ 昭和48年 6月18日 |
| 11 代 | 小 林 武 夫 | 昭和48年 6月18日 ~ 昭和50年 3月31日 |
| 12 代 | 植 野 保 正 | 昭和50年 5月14日 ~ 昭和50年12月22日 |
| 13 代 | 大 出 勝 久 | 昭和50年12月22日 ~ 昭和53年 9月29日 |
| 14 代 | 橋 本 金次郎 | 昭和53年 9月29日 ~ 昭和54年 4月29日 |
| 15 代 | 鶴 見 勝 二 | 昭和54年 5月15日 ~ 昭和56年 6月25日 |
| 16 代 | 峰 崎 茂 | 昭和56年 6月25日 ~ 昭和58年 4月29日 |
| 17 代 | 関 口 育 男 | 昭和58年 5月17日 ~ 昭和60年 3月13日 |
| 18 代 | 渡 辺 直 治 | 昭和60年 3月13日 ~ 昭和62年 4月29日 |
| 19 代 | 峰 崎 茂 | 昭和62年 5月14日 ~ 昭和63年 3月30日 |
| 20 代 | 森 田 総 一 | 昭和63年 3月30日 ~ 平成 元年 9月11日 |
| 21 代 | 西 村 弘 | 平成 元年 9月11日 ~ 平成 3年 4月29日 |
| 22 代 | 糸 井 助三郎 | 平成 3年 5月17日 ~ 平成 5年 6月25日 |
| 23 代 | 伊 沢 範 夫 | 平成 5年 6月25日 ~ 平成 7年 4月29日 |
| 24 代 | 松 島 儂 | 平成 7年 5月17日 ~ 平成 9年 6月23日 |
| 25 代 | 本 橋 徳太郎 | 平成 9年 6月23日 ~ 平成11年 4月29日 |
| 26 代 | 大 山 典 男 | 平成11年 5月18日 ~ 平成13年 6月27日 |
| 27 代 | 星 野 日出男 | 平成13年 6月27日 ~ 平成15年 4月29日 |
| 28 代 | 石 島 政 己 | 平成15年 5月20日 ~ 平成17年 6月22日 |
| 29 代 | 石 渡 丈 夫 | 平成17年 6月22日 ~ 平成19年 4月29日 |
| 30 代 | 野 村 広 元 | 平成19年 5月16日 ~ 平成21年 6月25日 |
| 31 代 | 塚 原 一 男 | 平成21年 6月25日 ~ 平成23年 4月29日 |
| 32 代 | 塚 原 俊 夫 | 平成23年 5月17日 ~ 平成25年 6月27日 |
| 33 代 | 生 井 貞 夫 | 平成25年 6月27日 ~ 平成27年 4月29日 |
| 34 代 | 角 田 良 博 | 平成27年 5月19日 ~ 平成29年 6月22日 |
| 35 代 | 荒 川 美代子 | 平成29年 6月22日 ~ 現在 |

平成29年4月1日現在

教育委員会総務課調

市制施行以降の教育委員

| 氏名 | 在任期間 |
|-------|--------------------|
| 塚原隆二 | 昭29.3.31～昭30.3.30 |
| 中村 斌 | 昭29.3.31～昭30.3.30 |
| 寺岡与七 | 昭29.3.31～昭30.3.30 |
| 小池知明 | 昭29.3.31～昭31.9.30 |
| 松浦盛三郎 | 昭29.3.31～昭32.9.30 |
| 鈴木長治 | 昭29.3.31～昭42.7.4 |
| 野住 生 | 昭30.3.31～昭33.9.30 |
| 小池安夫 | 昭30.3.31～昭38.9.30 |
| 宇井浩道 | 昭30.3.31～昭51.9.30 |
| 永藤義雄 | 昭32.10.1～昭40.9.30 |
| 山中 勲 | 昭33.10.1～昭47.6.20 |
| 渡辺佐一 | 昭38.10.1～昭53.9.30 |
| 山口淳一 | 昭40.10.1～昭47.10.29 |
| 坂本重造 | 昭42.7.5～昭46.6.30 |
| 神川 澡 | 昭46.9.1～昭50.12.23 |
| 杉田房吉 | 昭47.7.1～昭57.9.30 |
| 宮田 清 | 昭48.3.1～昭56.9.30 |
| 古谷一夫 | 昭51.10.1～平2.2.15 |

| 氏名 | 在任期間 |
|------|-------------------|
| 慶野恒徳 | 昭51.4.5～平4.9.30 |
| 東条拳明 | 昭53.10.1～平3.9.30 |
| 菅沼 浩 | 昭56.10.1～平9.9.30 |
| 田波子平 | 昭57.10.1～平10.9.30 |
| 小山正義 | 平2.6.15～平6.4.20 |
| 近藤 稔 | 平4.10.1～平12.9.30 |
| 石倉洋子 | 平3.10.1～平14.2.3 |
| 菅沼基訓 | 平6.7.1～平14.3.31 |
| 清水 悟 | 平14.4.1～平23.3.31 |
| 慶野裕子 | 平20.4.1～平24.3.31 |
| 福井崇昌 | 平9.10.1～現在 |
| 神山宜久 | 平10.10.1～現在 |
| 福地尚美 | 平13.4.1～現在 |
| 新井 泉 | 平14.4.1～現在 |
| 酒井一行 | 平23.4.1～現在 |
| 西口絹代 | 平24.4.1～平28.3.31 |
| 結城美鶴 | 平28.4.1～現在 |

歴代教育委員長

| 氏名 | 在任期間 |
|-------|--|
| 小池知明 | 昭29.3.31～昭31.9.30 |
| 松浦盛三郎 | 昭31.10.1～昭32.9.30 |
| 野住 生 | 昭32.10.1～昭33.9.30 |
| 小池安夫 | 昭33.10.1～昭34.9.30 昭37.10.1～昭38.9.30 |
| 宇井浩道 | 昭34.10.1～昭35.9.30 昭38.10.1～昭51.9.30 |
| 永藤義雄 | 昭35.10.1～昭36.9.30 |
| 山中 勲 | 昭36.10.1～昭37.9.30 |

| 氏名 | 在任期間 |
|------|-------------------|
| 渡辺佐一 | 昭51.10.1～昭53.9.30 |
| 古谷一夫 | 昭53.10.1～平2.2.15 |
| 菅沼 浩 | 平2.6.25～平9.9.30 |
| 田波子平 | 平9.10.1～平10.9.30 |
| 石倉洋子 | 平10.10.1～平14.2.3 |
| 福井崇昌 | 平14.3.8～平28.9.30 |

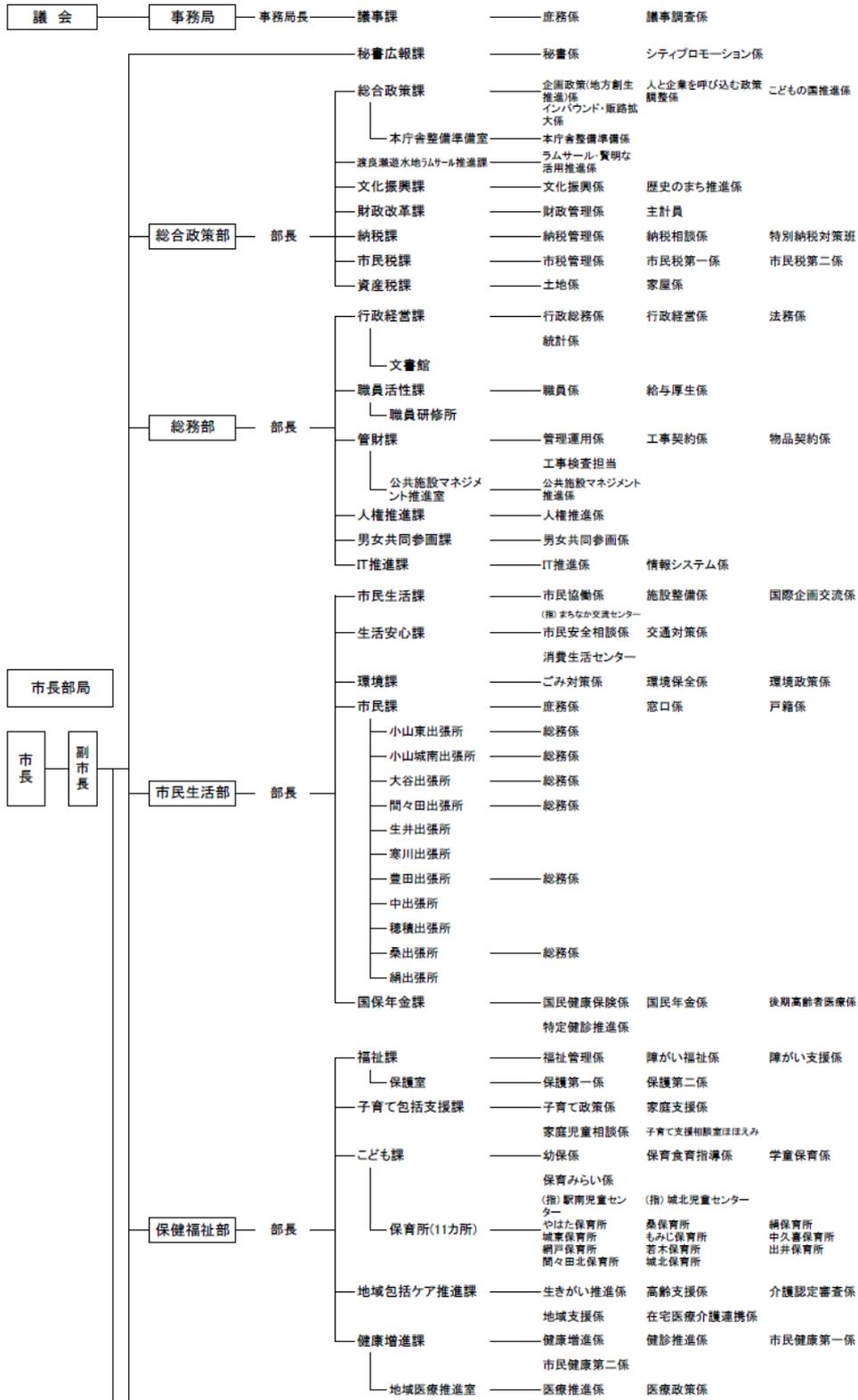
歴代教育長

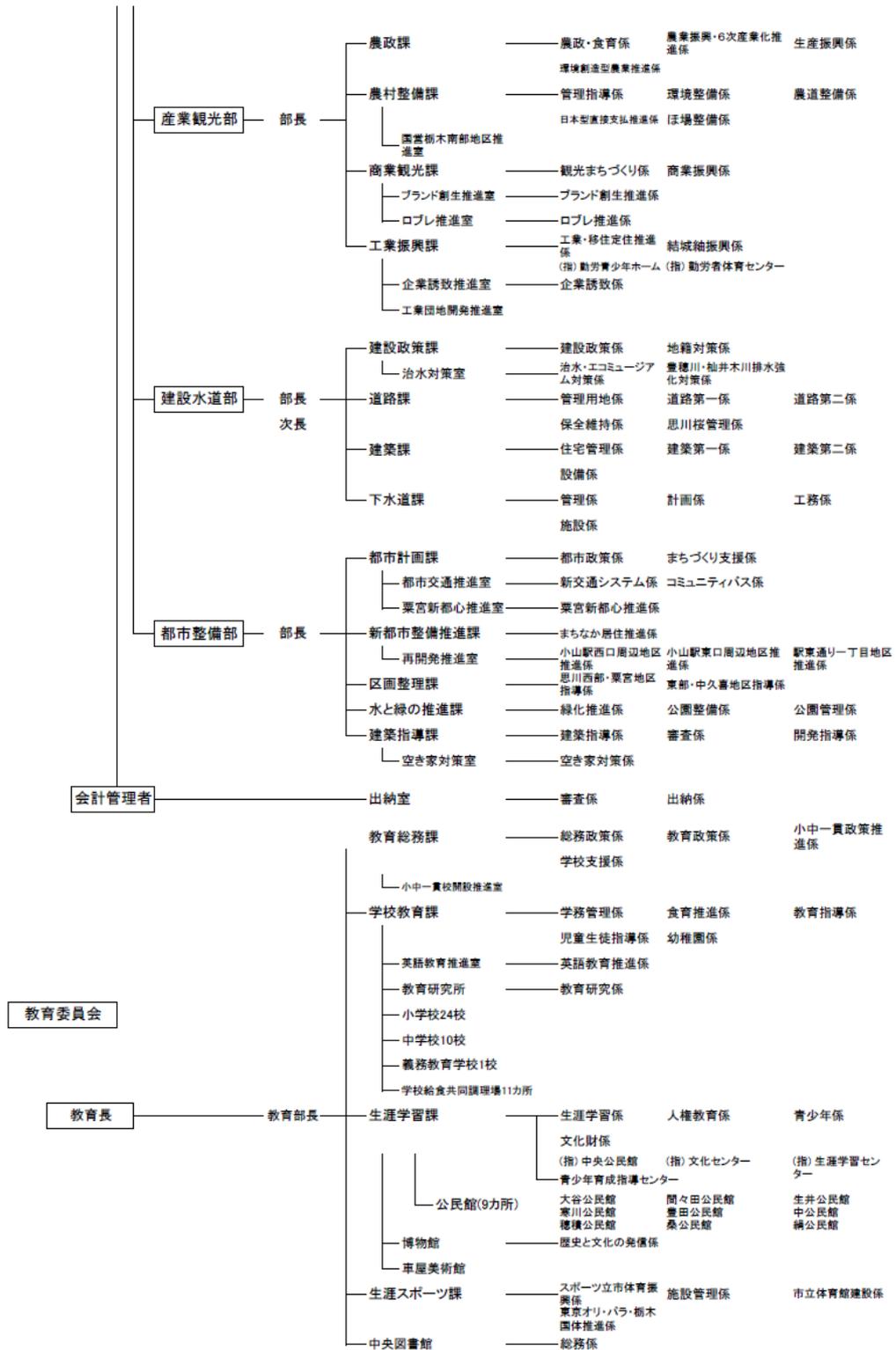
| 氏名 | 在任期間 |
|------|-------------------|
| 鈴木長治 | 昭29.3.31～昭42.7.4 |
| 坂本重造 | 昭42.7.5～昭46.6.30 |
| 神川 澡 | 昭46.9.1～昭50.12.23 |
| 慶野恒徳 | 昭51.4.5～平3.3.31 |

| 氏名 | 在任期間 |
|------|------------------|
| 小山正義 | 平3.4.1～平6.4.20 |
| 菅沼基訓 | 平6.7.1～平14.3.31 |
| 清水 悟 | 平14.4.1～平23.3.31 |
| 酒井一行 | 平23.4.1～現在 |

小山市行政組織機構図

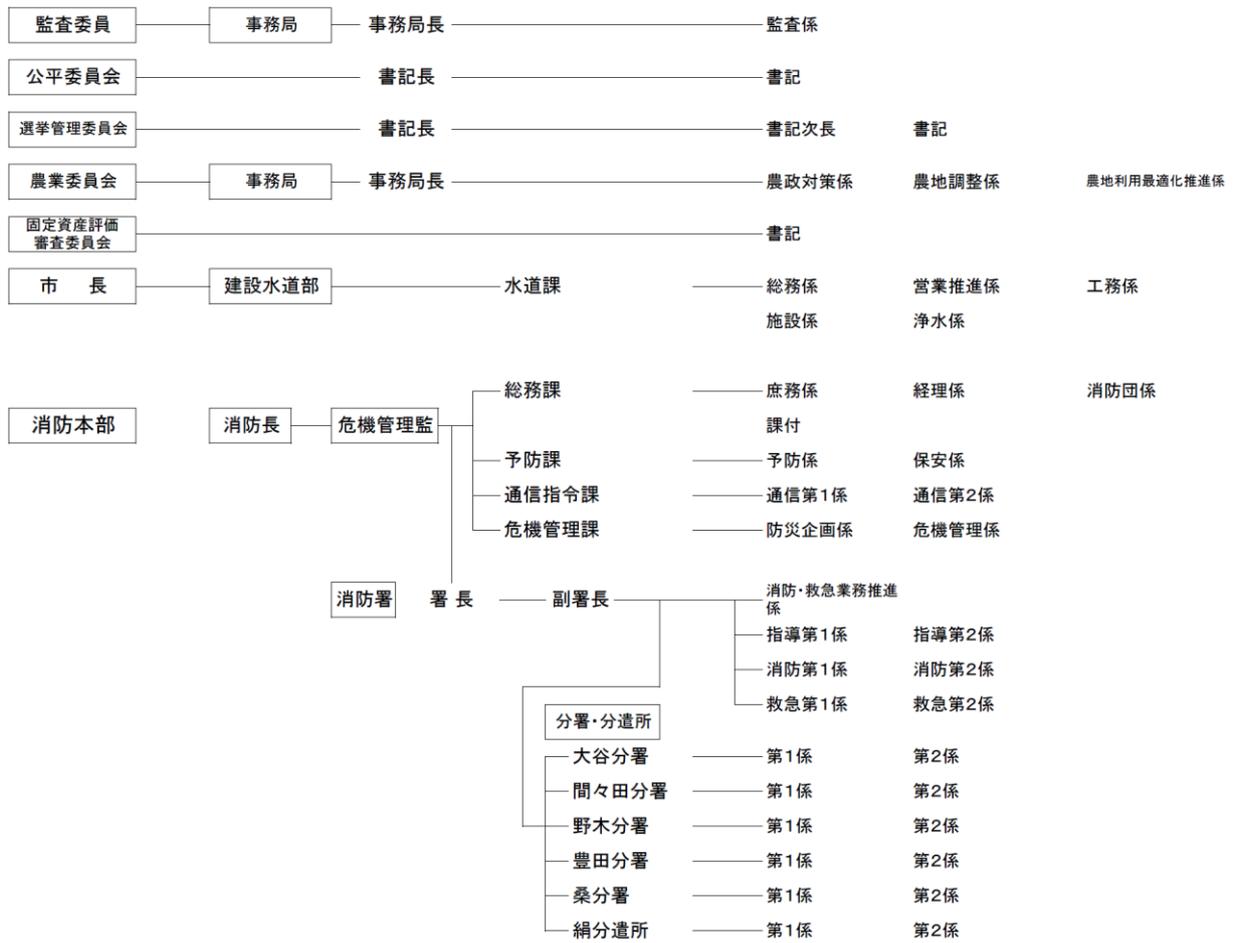
平成29年4月1日現在





(指)は、直営施設から指定管理施設となったもの

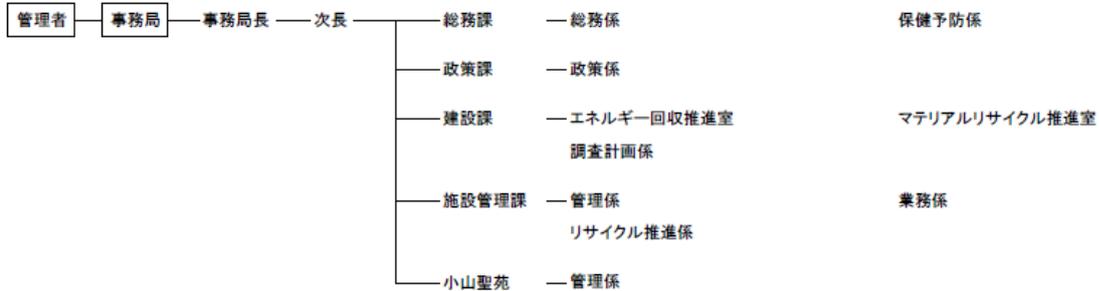
[その他の指定管理施設] 中央市民会館、城南市民交流センター、市営駐車場(2カ所)、公共駐輪場(7カ所)、学童保育施設(32カ所)、ふれあい健康センター、道の駅思川、絹ふれあいの郷、まちの駅



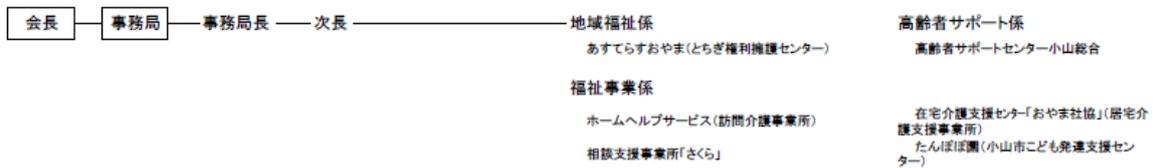
【参考】

平成29年4月1日現在

【小山広域保健衛生組合】(出向)



【(社福)社会福祉協議会】(派遣)



【(公社)シルバー人材センター】



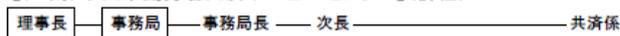
【栃木県南公設地方卸売市場事務組合】(派遣)



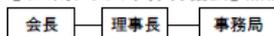
【小山市土地開発公社】(併任)



【(一財)小山市勤労者共済サービスセンター】(併任)



【(公財)小山市体育協会】(派遣)



【(公財)小山市農業公社】(併任)



【他自治体派遣等職員】(派遣等)

- 環境省派遣(職員活性課付) (Environment Ministry Dispatch (Staff Activation Section))
- 農林水産省派遣(職員活性課付) (Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries Dispatch (Staff Activation Section))
- 広域連合派遣(国保年金課付) (Wide Area Union Dispatch (National Health Insurance Pension Section))
- 自治体国際化協会派遣(総合政策課付) (Local Government Internationalization Association Dispatch (Comprehensive Policy Section))
- 国土交通省派遣(割愛) (Ministry of Land, Infrastructure and Transport Dispatch (Special Assignment))

29年度版

小山市統計年報

平成29年12月

編集・発行・印刷

小山市総務部行政経営課

tel 0285-22-9312
